Panasonic

取扱説明書
デジタルカメラ
品番 DMC-FZ30

はじめに

準備

撮る・基本

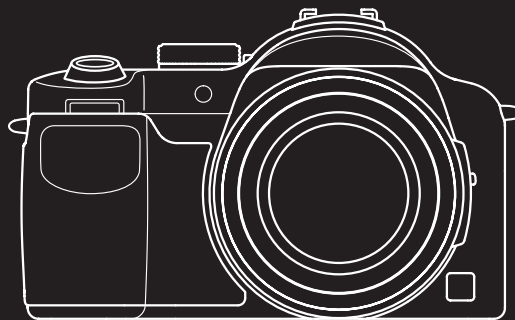
見る・基本

撮る・応用

撮影メニュー設定

見る・応用

パソコン・プリンターとの接続

その他

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、デジタルカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

● この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（127 ～ 134 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
● 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0R78-1S

もくじ

はじめに

準備

撮る・基本

見る・基本

つづく

撮る・応用

撮影メニュー設定

見る・応用

パソコン・プリンターとの接続

その他

本書について

■ 本書内の表示について

モードダイヤル設定：P A S M 🎞 SCN1 SCN2 ▶ A

各機能や設定が使用できるモードを表しています。
モードダイヤルをいずれかに合わせてご使用ください。

本機を使用するうえで、知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

つづく

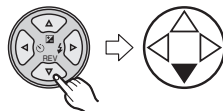
次のページへ続くことを表しています。

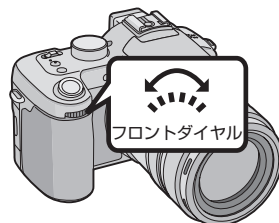
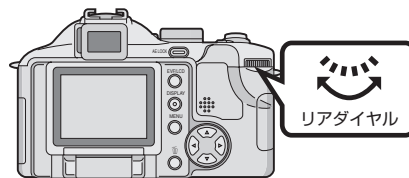
■ 本書内のイラストについて

本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

■ カーソルボタンのイラストについて

本書ではカーソルボタンを図のように説明しています。

例：▼ボタンを押すとき

■ フロントダイヤル、リアダイヤルについて

本書では画面アイコンに合わせて図のように説明しています。

フロントダイヤル、リアダイヤルは、ゆっくり確実に回してください。

ホームページではデジタルカメラの撮りかたやコツ、新製品の情報などを紹介しています。
参考にご覧ください。
http://panasonic.jp
また製品のサポート情報については
http://panasonic.jp/support/
をご覧ください。

まずお読みください

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気を付けください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

■ カードの画像について

- 以下の場合、本機で再生できない場合があります。
  - 他機で記録、作成した画像
  - パソコンで編集された画像
- 本機で記録、作成した画像は他機で再生できない場合がありますので、あらかじめお確かめください。

■ 本機で使用できるカードは

SD メモリーカード、マルチメディアカードです。

- マルチメディアカードは静止画のみ対応しています。
- 本書では SD メモリーカードとマルチメディアカードを「カード」と記載しています。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

つづく

故障を防ぐために

■ 本機の取り扱いについて

- **本機に強い振動や衝撃を与えないでください。**誤動作したり、画像が記録できなくなる可能性があります。また、レンズが破壊される可能性があります。
- **砂やほこりは、本機の故障につながります。浜辺などで使うときは、レンズ部内部や端子部に砂やほこりが入らないようにしてください。**
- 雨の日や浜辺などで撮影するときは、本機をぬらさないようにお気を付けください。
- **万一水や海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。**

■ 液晶モニター/ ファインダーについて

- **液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。**
- 温度差が激しい場所では、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- **液晶モニターを回転させるときは、無理な力を加えないようお気を付けください。故障の原因になります。**
- **三脚使用時、三脚によっては液晶モニターが回転できないものがあります。**
- 液晶モニターを使用しないときやファインダーを使用するときは、汚れや傷防止のため液晶モニターを内側に収納しておくことをおすすめします。
- 長期間保管する場合、液晶モニターを内側に収納しておくことをおすすめします。

液晶モニター / ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニター / ファインダーの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

■ レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気を付けください。
- レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）が付いた場合、画像に影響をおよぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。

故障を防ぐために(つづき)

■ つゆつきについて（レンズやファインダーがくもるとき）

つゆつきは、下記のように温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気を付けください。

- 寒い屋外から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 車外から冷房の効いた車などに持ち込んだとき
- エアコンなどの冷風が本機に直接当たっているとき
- 湿気がたち込めるなど、湿度の高いところ

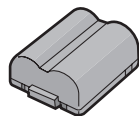
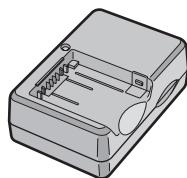
つゆつきの発生を防ぐためにビニール袋に入れて周囲の気温になじませてください。万一つゆつきが起こった場合、電源を [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

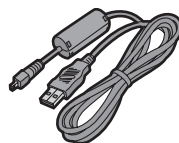
■ 長期間使用しないときは

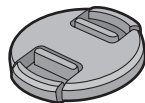
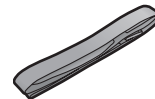
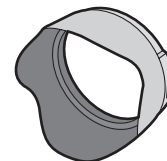
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
（推奨温度 :15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度 :40 %～ 60 %です）
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを付けたままにしておくと、本機の電源が [OFF] であっても、絶えず微少電流が流れています。
これをそのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、バッテリー残量がなくなったあと、本機から取り外して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

付属品

本機をご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることをご確認ください。
記載の品番は 2005 年 7 月現在のものです。

■ バッテリーパック
DMW-BMA7
（本文中では**バッテリー**と表記します）

■ バッテリーチャージャー
DE-993 A（本品は共用タイプです）
（本文中では**チャージャー**と表記します）

■ AV ケーブル
K1HA08CD0008

■ USB 接続ケーブル
K1HA08CD0007

■ CD-ROM ☆

■ レンズキャップ
VYK1P30

■ ストラップ
VFC4124

■ レンズフード
VYQ3467

- SD メモリーカードは別売です。
- 別売アクセサリーについては 122 ページを参照してください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
☆印以外は、松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/
TEL　06-6907-9144
パナセンスカスタマーセンター

各部の名前

※1 ACアダプターを使用するときは、当社製のバッテリーチャージャー/ACアダプター（別売：DMW−CAC1）を使用してください。

三脚取付部※2

バッテリー扉(P14)

開閉レバー（P14）

レンズフード位置決め溝（P18）

ファインダー(P26､125)

視度調整ダイヤル(P29)

ＡＥ ＬＯＣＫボタン(P40)

EVF/LCDボタン(P26)

DISPLAYボタン(P26)

液晶モニター
(P26､27､125)

MENUボタン(P22)

削除ボタン
(P61)

カーソルボタン

▲/露出補正(P54)
オートブラケット(P55)
WB微調整 (P80)
フラッシュ発光量調整(P51)
逆光補正(P43)

◀/セルフタイマー(P53)

▶/フラッシュ(P49)

▼/REV(P44)

電源スイッチ(P22)

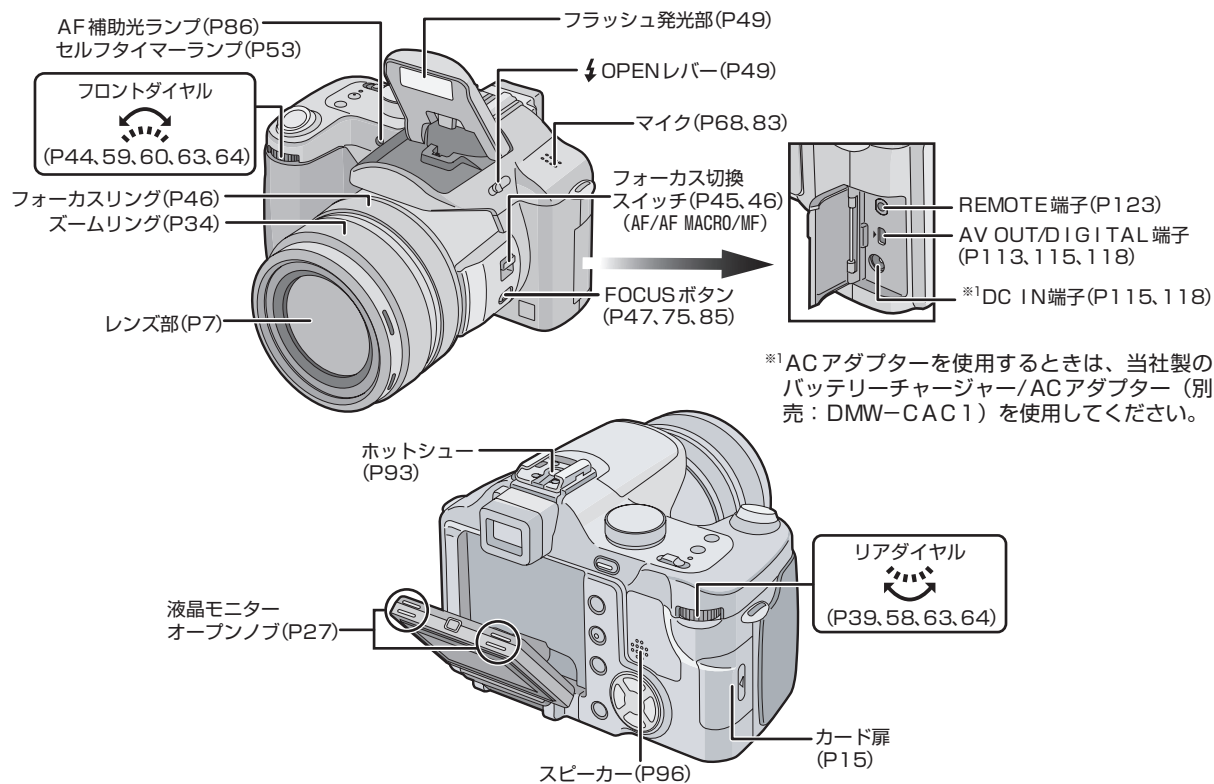
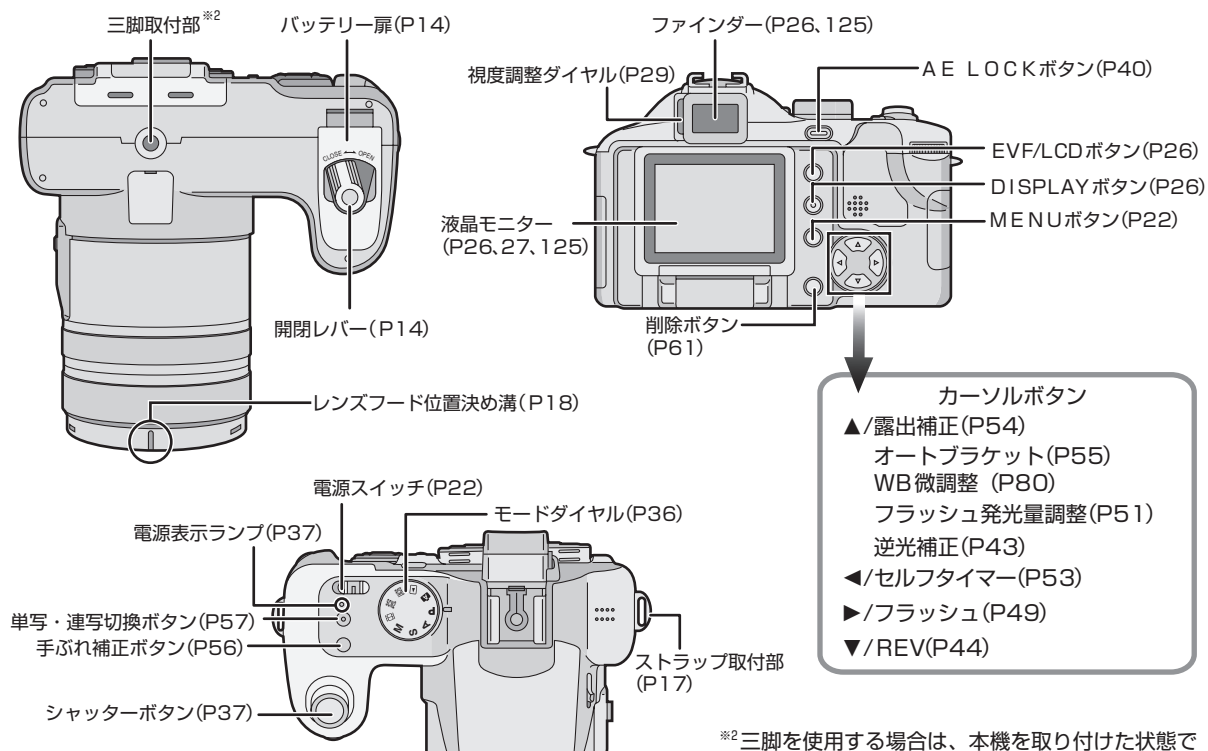
モードダイヤル(P36)

電源表示ランプ(P37)

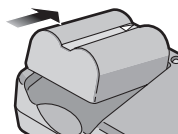
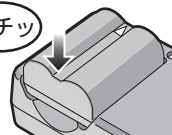
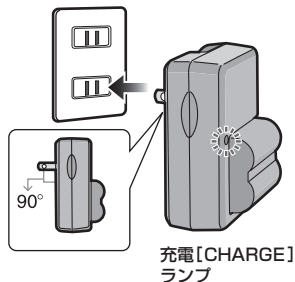
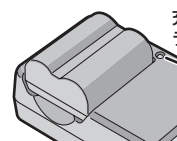
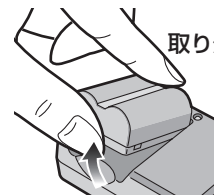
単写・連写切換ボタン(P57)

手ぶれ補正ボタン(P56)

シャッターボタン(P37)

ストラップ取付部
(P17)

※2 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で
三脚が安定していることを確認してください。

バッテリーをチャージャーで充電する

● お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

● 充電完了後、電源コンセントから外してください。
● 使用後、充電中や充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
● 充電完了後にバッテリーを長期間放置すると、バッテリーは消耗します。その場合は、再度充電し直してください。
● **本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。**
● **チャージャーは海外でも使うことができます。（P137）**
● **チャージャーは屋内で使用してください。**

バッテリーについて（充電・撮影枚数）

■ 残量表示について

残量表示が液晶モニター / ファインダーに表示されます。

表示が赤色に変わり点滅します。バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

[バッテリーチャージャー/AC アダプター（別売：DMW-CAC1）につないで使用するときは表示されません]

■ 電池寿命について

CIPA 規格による撮影枚数（プログラム AE モード時）

- CIPA は、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。

撮影可能枚数	約 280 枚（約 140 分相当）

CIPA 規格による撮影条件

- 温度 23 ℃ / 湿度 50 %、液晶モニターを点灯
- 当社製の SD メモリーカード（別売：32 MB）※使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから 30 秒経過後、撮影を開始
- **30秒間隔で１回撮影**、フラッシュを２回に１回フル発光
- １０枚撮影ごとに電源をいったん切る

※カードは付属していません。

撮影枚数は撮影間隔によって変わります。
撮影間隔が長くなると撮影枚数は減少します。
（2 分に 1 回撮影した場合は、約 75 枚に減少します）

ファインダー使用時の撮影枚数（条件は上記 CIPA 規格と同じ）

撮影可能枚数	約 300 枚（約 150 分相当）

液晶モニター使用時の再生時間

再生時間	約 300 分

撮影枚数 / 再生時間はバッテリーの保存状態や使用条件によって多少変わります。

■ 充電について

充電時間	約 120 分

別売のバッテリーパック（DMW-BMA7）の充電時間と撮影可能枚数は、付属のバッテリーパックの場合と同じです。

- 充電が始まると、充電 [CHARGE] ランプが点灯します。

■ 充電エラーについて

- 充電開始後、充電[CHARGE]ランプが点灯から約１秒間隔の点滅になった場合は充電エラーです。
  このときは、チャージャーを電源コンセントから抜いて、バッテリーを取り出し、周囲の温度やバッテリーが低温または高温になっていないかを確認し、もう一度充電し直してください。しばらく充電してもまだ充電 [CHARGE] ランプが点滅する場合は、販売店にご相談ください。
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 充電する環境について

- 充電は周囲の温度が 10 ℃～ 35 ℃（バッテリーの温度も同様）のところで行ってください。
- スキー場などの低温下では、バッテリーの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなる場合があります。

バッテリーを入れる・取り出す

- 電源が [OFF] になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

❶ 開閉レバーを矢印の方向にスライドさせる

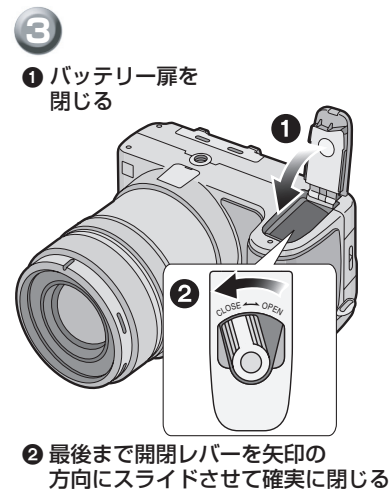
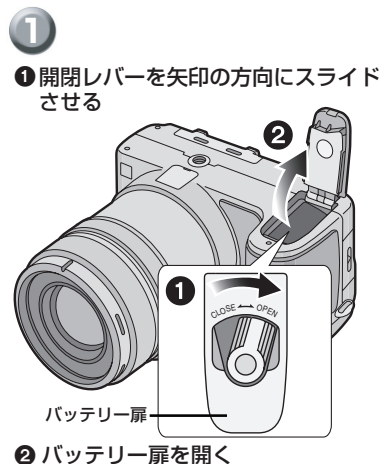
❷ バッテリー扉を開く

入れるときは、「カチッ」と音がするまで奥まで入れる

①

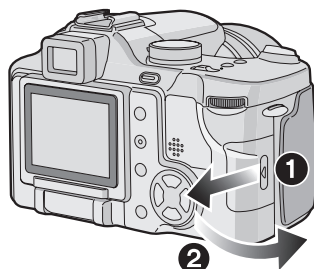
取り出すときは、① のレバーを矢印の方向に押して取り出す

❶ バッテリー扉を閉じる

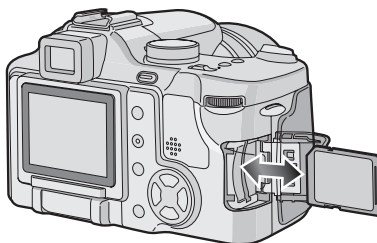
❷ 最後まで開閉レバーを矢印の方向にスライドさせて確実に閉じる

- 本機を長期間使用しないときは、バッテリーを取り出しておいてください。
- 満充電されたバッテリーを挿入して約 24 時間経過すると、バッテリーを取り出して放置しても、約 3ヵ月は時計設定を記憶しています。（十分に充電されていないバッテリーを挿入した場合は、記憶時間は短くなることがあります）しかしそれ以上時間が経過すると設定が消えますので、もう一度時計を設定してください。（P20）
- **カードのデータが破壊される可能性がありますので、アクセス中はカードやバッテリーを取り出さないでください。****（P16）**
- **カメラの設定が正しく保存されない可能性がありますので、電源を [ON] にしたままバッテリーを取り出さないでください。**
- **付属のバッテリーは、本機専用です。本機以外で使わないでください。**
- **専用バッテリーパック（DMW-BMA7）をお使いください。**

カード（別売）を入れる・取り出す

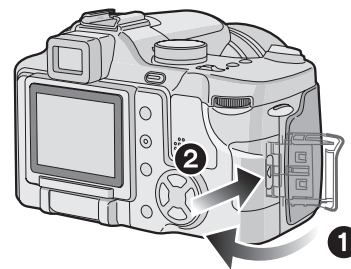
- 電源が [OFF] になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

❶ カード扉を矢印の方向にスライドさせる

❷ 開く

- **電源を [ON] にしたままカードを入れたり、取り出したりすると、カードやカードのデータが壊れる原因になることがあります。**
- **カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。（正規カード以外は使用しないでください）**

カードを入れるときは、「カチッ」と音がするまで奥まで入れる

カードを取り出すときは「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

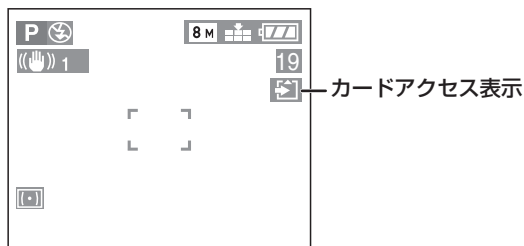
- カードの向きを確認してください。
- カードの裏の接続端子部に触れないでください。
- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

❶ カード扉を閉じる

❷ 最後までスライドさせて確実に閉じる

- カード扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出してから、もう一度入れ直してください。

カードについて

■ カードアクセス中は･･･

カードに画像を記録しているときは、カードアクセス表示が赤く点灯します。

カードアクセス表示が点灯しているときや、画像の読み出しや削除、カードのクリーンアップ（P111）、フォーマット（P112）中などは、以下のことをお守りください。

- 電源を [OFF] にしない
- バッテリーやカードを取り出さない
- 本機に振動や衝撃を与えない

カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。

■ カードの取り扱いについて

大切なデータはパソコン（P115）などにも保存してください。電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりカードのデータが壊れたり消失することがあります。

- パソコンやその他の機器でフォーマットされた場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P112）

■ SD メモリーカード（別売）とマルチメディアカード（別売）について

- SD メモリーカードとマルチメディアカードは小型、軽量で、着脱可能な外部メモリーカードです。
- SDメモリーカードは記録/読み出し速度が速く、カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備えています。（スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなり、戻すと可能になります）

SDメモリーカード
書き込み禁止スイッチ

- 本機では、以下の容量（8 MB ～ 2 GB まで）の SD メモリーカードが使用できます。

8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、
128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

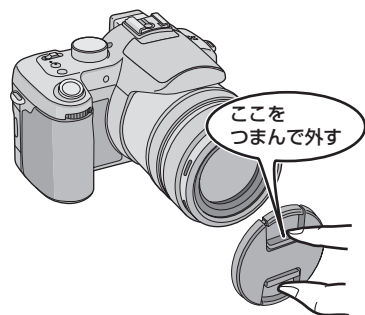
- 本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされた SD メモリーカードに対応しています。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。

■ miniSD™ カード（別売）について

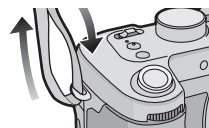
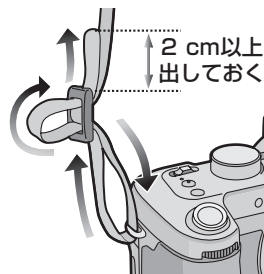
- miniSD™ カードを本機で使用する場合は、専用の miniSD™ アダプターを必ず装着してお使いください。
- miniSD™ アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。必ず、miniSD™ カードを入れてお使いください。

レンズキャップを外す・ストラップを付ける

■ レンズキャップを外す

① レンズキャップのつまみをつまんで外す

- 電源を [OFF] にしているときや持ち運ぶとき、撮影した画像の再生中は、レンズ面の保護のため、レンズキャップを取り付けてください。
- レンズキャップを外して撮影してください。
- レンズキャップの紛失にお気を付けください。

■ ストラップ(付属)を付ける

① ストラップ取付部にとおす

② 止め具にとおして止める

- ねじれないように、もう片方も付けてください。
- ストラップがしっかり付けられていることを確認してください。
- LUMIX のロゴが見えるように付けてください。

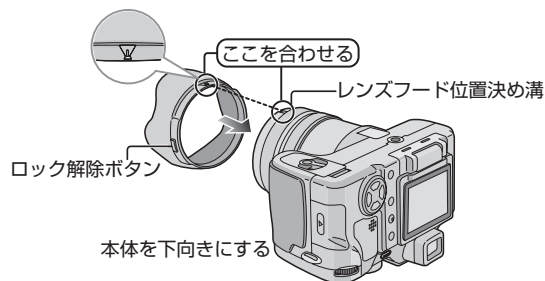
準備

レンズフードを付ける・外す

日差しの強い中、逆光時にゴーストやフレアを軽減します。余分な光をさえぎり、より美しく撮れます。

- 電源が [OFF] になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

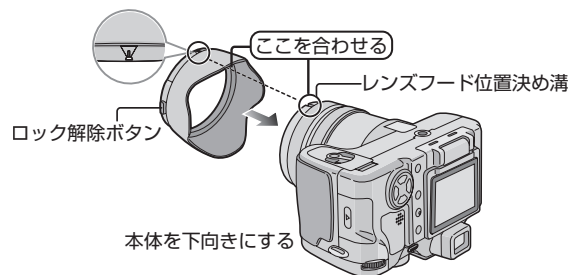
■ レンズフードを付ける場合

① レンズフードのマークを、本体のレンズフード位置決め溝に合わせてまっすぐ挿入する

- レンズフードが確実に装着されていることを確認してください。

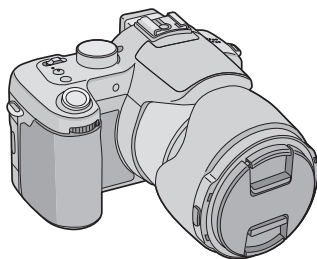
レンズフードを外す場合

ロック解除ボタンをつまんで、レンズフードを外す

■ レンズフードを一時的に外して運ぶ場合（仮収納）

① レンズフードを外して向きを逆にし、レンズフードのマークを、本体のレンズフード位置決め溝に合わせてまっすぐ挿入する

レンズフードを外す場合

ロック解除ボタンをつまんで、レンズフードを外す

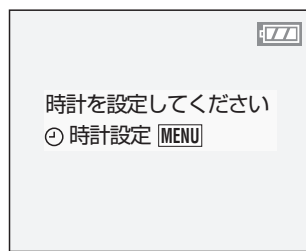
■ レンズフードを付ける場合

レンズキャップを付ける

- レンズキャップがしっかり付いていることを確認してください。
- 仮収納時は、確実にレンズフードが装着されていることを確認して、画像にレンズフードが映っていないことを確認してください。
- 仮収納時は、レンズキャップを外して撮影できますが、ズームリング、フォーカスリング、[FOCUS] ボタン、フォーカス切換スイッチは使用できません。

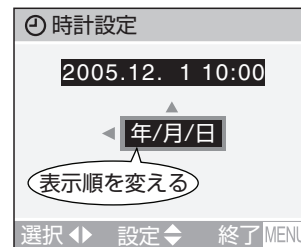
- フラッシュを使用するときにレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードにさえぎられ、画面の下が暗く（ケラレ）なり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをおすすめします。
- 暗いところでAF補助光を使用するときは、レンズフードを外してください。
- MC プロテクターと ND フィルターの取り付けかたについては 124 ページをお読みください。
- レンズフードを付けているときは、コンバージョンレンズの取り付けはできません。
- 付属品をなくされたときは、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口（P150 ～ 152 ）にお問い合わせください。

時計を設定する

■ お買い上げ時は・・・

時計設定はされていませんので、電源を [ON] にすると、下のような画面が表示されます。

- [MENU] ボタンを押すと ① の画面が表示されます。
- 約5秒経過すると画面が消えますので、電源を入れ直すか、[MENU] ボタンを押して、メニュー画面を表示させ(P22)、セットアップメニューの 2/4 ページで [時計設定] を選び、右の ①、② の手順で設定してください。

年月日と時刻を合わせる

- ◀/▶：合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選ぶ
- ▲/▼：年月日、時刻を設定する

表示の順番を選ぶ

- 表示順を変えると、以下のように表示されます。
  （例;2005年12 月1日10時00分）

[年/月/日]: 2005.12.1 10:00
[日/月/年]: 10:00 1.DEC.2005
[月/日/年]: 10:00 DEC.1.2005

- 設定終了後、[MENU]ボタンを2回押して、メニューを終了してください。
- そのあと、一度電源を[OFF]にしてからもう一度 [ON] にして、設定どおり表示されているか確認してください。

- 満充電されたバッテリーを挿入して約24時間経過すると、バッテリーを取り出して放置しても、約3ヵ月は時計設定を記憶しています。（十分に充電されていないバッテリーを挿入した場合は記憶時間は短くなることがあります）しかしそれ以上時間が経過すると、設定が消えてしまいますので、もう一度時計を設定してください。
- 年は2000年から2099年まで設定できます。時刻は24時間表示です。
- 日付設定を行っていないと、お店にデジタルプリントを依頼するときに、日付を印刷することができませんのでお気を付けください。

日付プリントについて

準備

日付プリントを設定する

DPOFプリント設定のプリント枚数設定時に[DISPLAY]ボタンを押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。（P103）

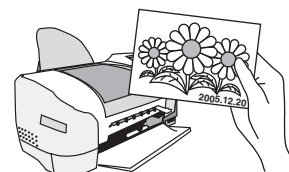
お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。

※お店によっては、DPOFプリント設定の日付を印刷できない場合があります。詳しくは、お店にお尋ねください。

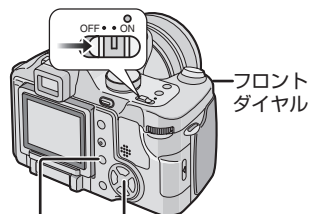
自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、印刷するだけで日付プリントができます。（P118）

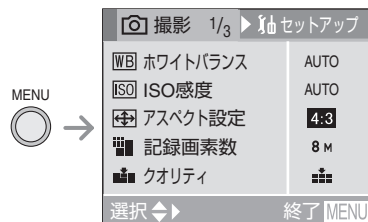
CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-Viewer-」をお使いの場合は、印刷プレビュー画面で日付入りに設定すると、日付プリントができます。詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

プリンター

セットアップメニューについて

● 必要に応じて設定してください。(各項目については 23 ～ 25 ページをお読みください)

❶ 電源スイッチを [ON] にする

MENUボタン　カーソルボタン

● モードダイヤル (P36) で選んでいるモードによって、メニュー項目は異なります。
ここでは、プログラム AE モード [P] で、セットアップメニューの [液晶明るさ] の設定の例で説明しています。

❷ メニュー画面を開く

[セットアップ] を選ぶ (オレンジ色表示にする)

● フロントダイヤルを回すと、1/4、2/4、3/4、4/4 とページが切り換わります。

❸ 項目を選ぶ

設定する

最後に必ず ▶ で決定してください。

● 設定終了後、[MENU] ボタンを押して、メニューを終了してください。撮影モード時は、シャッターボタンを半押ししても、メニューを終了することができます。

つづく

セットアップメニュー（設定方法については P22 へ）

項目		設定内容
☼	**液晶明るさ / ファインダー明るさ**	液晶（液晶モニターに表示されている場合）またはファインダー（ファインダー内に表示されている場合）の明るさを 7 段階に調整できます。
	オートレビュー	OFF：　撮影後に撮影画像が自動的に表示されません。 1秒：　撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。 3秒：　撮影後に撮影画像が約 3 秒間表示されます。 ZOOM：撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。そのあと、4 倍に拡大された画像が約 1 秒間表示されます。ピントの確認に便利です。オートブラケット、連写、音声付き静止画は、[ZOOM] に設定していても拡大されません。 ● 動画撮影モード [] のときはオートレビューされません。 ● オートブラケット撮影 [](P55)、連写 [][][](P57)のときは、オートレビューの設定に関わらず、オートレビューされます。（拡大はされません） ● オートレビューの設定に関わらず、音声付き静止画は、音声記録中とカード記録中にオートレビューされます。（拡大はされません） ● クオリティを[TIFF]または[RAW]に設定して撮影したときは、カード記録終了までオートレビューされます。（拡大はされません） ● オートブラケット撮影、連写、動画撮影モード []、音声記録のとき、オートレビューの設定はできません。
	モニター優先	[ON] に設定すると、撮影モードでファインダーを選択していた場合、レビュー時や再生時に自動的に液晶モニター表示に切り換わります。（P29）

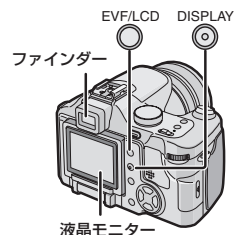
準備

セットアップメニュー（設定方法については P22 へ）

項目		設定内容
	パワーセーブ	1分 /2 分 /5 分 /10 分：設定した時間の間に何も操作しないと、パワーセーブモード（電源を自動的に切り、バッテリーの消耗を防ぐ）になります。 OFF: パワーセーブモードになりません。 ● パワーセーブを解除するには、シャッターボタンを半押しするか、または電源を[OFF]にしてからもう一度 [ON] にしてください。 ● バッテリーチャージャー/AC アダプター（別売：DMW-CAC1）使用時、パソコン接続時、プリンター接続時、動画撮影 / 再生時、スライドショー中はパワーセーブは働きません。（ただし、マニュアルスライドショー中は 10 分固定でパワーセーブが働きます）
MF	MF アシスト（撮影モードのみ）	● マニュアルフォーカス時に、液晶モニター/ ファインダーの中央部が拡大され、ピントを合わせやすくなります。（P46） [MF1]： 画面中央部が拡大表示されます。画面全体の構図を決めながら、ピントを合わせることができます。 [MF2]： 画面全体が拡大表示されます。ピントの動きが分かりにくいW端でのピント合わせに便利です。 [OFF]： 拡大表示されません。
	操作音	：操作音なし ：操作音小 ：操作音大
	シャッター音	：シャッター音なし ：シャッター音小 ：シャッター音大
	スピーカー音量	スピーカーの音量を 7 段階に調整できます。（LEVEL6 ～ 0） ● テレビと接続したとき、テレビのスピーカーの音量は変わりません。
	時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。（P20）
	番号リセット	次に撮影される画像のファイル番号を 0001 から記録したい場合に設定します。 （フォルダー番号が更新され、ファイル番号が 0001 から始まります） ● フォルダー番号は 100 ～ 999 まで作成されます。 フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、カードのデータをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。 ● フォルダー番号を100にリセットするには、まずカードをフォーマット（P112）してから番号リセットを実行し、ファイル番号をリセットしてください。 そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選んでフォルダー番号をリセットしてください。 ● ファイル番号、フォルダー番号について、詳しくは 116 ページを参照してください。

セットアップメニュー（設定方法については P22 へ）

項目		設定内容
🔧R	設定リセット	撮影設定またはセットアップ設定をお買い上げ時の状態に戻します。 ● セットアップ設定をリセットすると、シーンモードの赤ちゃんモード(P72)の誕生日設定もリセットされます。また、再生メニューの [回転表示](P100)は [ON] になります。 ● フォルダー番号と時計設定の設定内容は変わりません。
USB	USB モード	USB の通信方式を設定します。 ● パソコンやプリンターに接続する前に設定してください。(P114)
HL	ハイライト表示	オートレビューまたはレビュー時に、白とびの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。(P29)
⇨	ビデオ出力 （再生モードのみ）	NTSC：ビデオ出力を NTSC 方式にします。 PAL： ビデオ出力を PAL 方式にします。（P137）
SCN	シーンメニュー	OFF： モードダイヤルを [SCN1] または、[SCN2] に合わせたとき、シーンモードメニューが表示されず、現在選択されているシーンモードで動作します。シーンモードを変更する場合は、[MENU] ボタンを押してシーンモードメニューを表示させてから、お好みのシーンモードを選択してください。 AUTO：モードダイヤルを [SCN1] または、[SCN2] に合わせたとき、シーンモードメニューが自動的に表示されます。お好みのシーンモードを選択してください。
🗨	言語設定	メニュー画面は以下の２言語から設定できます。▲/▼ で言語を選び、▶ で決定してください。誤って英語に設定した場合は、メニューアイコンの [🗨] を選び言語設定をしてください。 日本語： メニュー画面を日本語表記にします。 ENGLISH：メニュー画面を英語表記にします。

液晶モニター / ファインダーについて

①**液晶モニターとファインダーを切り換える**

［EVF/LCD］ボタンを押して切り換えてください。（液晶モニターを外側に収納している場合）

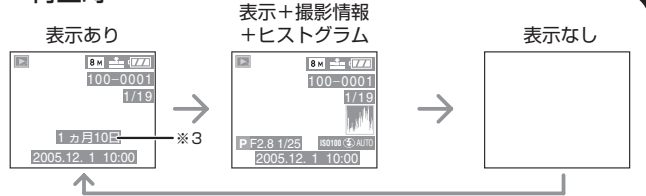
- 液晶モニターが点灯しているときは、ファインダーは消灯し、ファインダーが点灯しているときは、液晶モニターは消灯します。

②**表示を切り換える**

［DISPLAY］ボタンを押して切り換えてください。

- メニュー画面表示時は［DISPLAY］ボタンは働きません。マルチ再生時（P59）および再生ズーム時（P60）、スライドショー実行中（P98）は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

撮影時

再生時

※1　オートモード時のみ表示されます。

※2　残り枚数が1000枚を超える場合または動画撮影時間が1000秒を超える場合は、+999と表示されます。

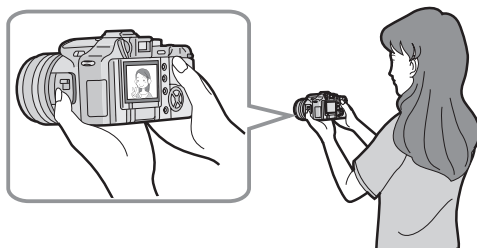
※3　シーンモードの赤ちゃんモード（P72）で誕生日設定をし、月齢 / 年齢ありで撮影した場合に表示されます。

つづく

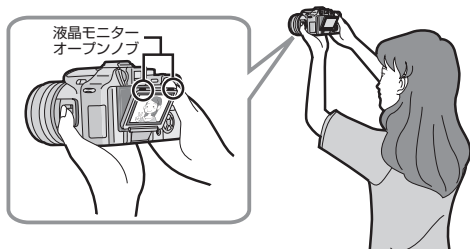
■ 液晶モニターについて

液晶モニターの角度を調整することにより、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

■ 通常撮影時

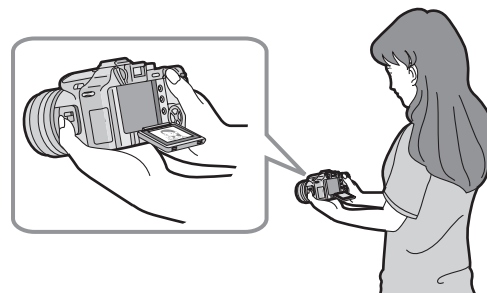
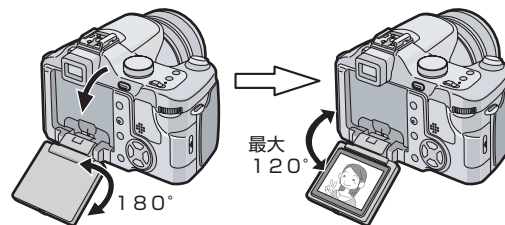
- 液晶モニター / ファインダーの切り換えが可能です。

■ ハイアングル撮影時

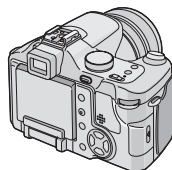
液晶モニターオープンノブに指をかけて、液晶モニターを引き出す

- 液晶モニターのみ使用できます。

- 前に人がいて、被写体に近づけないときなどに便利です。

■ ローアングル撮影時

液晶モニターオープンノブに指をかけて、手前に最後まで（約 120°）引き、180°回転させる

- 液晶モニターのみ使用できます。

液晶モニターの回転方向

- 低い位置にある花などを撮影するときなどに便利です。

- 液晶モニターが点灯しているときに、液晶モニターを内側に収納した場合、自動的にファインダーに切り換わります。
- ファインダーが点灯しているときでも、液晶モニターを開くと、自動的に液晶モニターに切り換わります。
- **液晶モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気を付けください。故障の原因になります。**
- 液晶モニターの周囲を持つと、液晶モニターにムラが発生しますが、故障ではありません。また、撮影画像や再生画像にも影響はありません。
- 液晶モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のため液晶モニターを内側に収納しておくことをおすすめします。
- 三脚使用時、三脚によっては、液晶モニターが回転できない場合があります。

■ ファインダーについて

動いているものや、屋外で撮影するときに便利です。

- 視度調整については、右ページをお読みください。

- ファインダーを使用する場合は、液晶モニターを必ず収納してください。
- 液晶モニターを開いた状態では、ファインダーは使用できません。

■ 上手に撮影するには

手持ちでぶれのない写真を撮影するために

- 両手で本機を軽く持ち、脇を閉め足を開いて構えてください。
- シャッターボタンを押す瞬間は、カメラが動かないようにお気を付けください。
- AF 補助光ランプやマイクを指などでふさがないでください。
- レンズ部に触らないでください。

ファインダーで撮る場合

縦に構える場合

- 縦に構えて撮影する場合は、液晶モニターを通常撮影の状態で使用してください。
- 手ぶれについては、39 ページをお読みください。

■ 縦位置検出機能について

- 本機を縦に構えて撮影した場合、回転情報が自動的に画像に付加されて記録されます。
  [回転表示]（P100）を [ON] にしておくと液晶モニターやテレビで再生するときに回転情報に従い画像を回転して表示させることができます。
- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影した画像では、縦位置検出機能が正しく機能しない場合があります。
- 動画撮影モード [ ] 時、コマ撮りアニメ作成時は、縦位置検出機能が使えません。

つづく

■ 画面外表示について

撮影画面の外部に撮影情報が表示されますので、露出情報などにより画面をさえぎられることなく、被写体に集中して撮影することができます。

■ 視度調整について

使う前に、視力に合わせてファインダー内の表示がよく見えるようにします。

- 液晶モニターを収納して、[EVF/LCD] ボタンを押してファインダーを表示させておく。

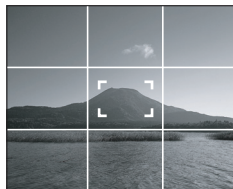
ファインダー内の表示を見て、
はっきり合うところまで
視度調整ダイヤルを回して調整する

■ モニター優先について

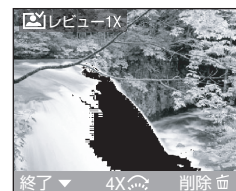
セットアップメニューの [モニター優先]（P23）を [ON] に設定すると、以下のような場合に液晶モニターが点灯します。ファインダーを点灯させて撮影したときでも液晶モニターに切り換える手間がなくなります。

- 撮影モードから再生モードに切り換えたとき
- レビューしたとき（P44）
- 再生モードで電源を入れたとき

■ 撮影ガイドラインについて

被写体を縦横の交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

■ ハイライト表示について

セットアップメニューの ［ ハイライト表示 ］（P25）を [ON] に設定すると、オートレビューまたはレビュー時に、白とびの起こっている部分（極端に明るい場所、光っている場所など）を黒と白の点滅で表示します。

ハイライト表示なし

ハイライト表示あり

- ヒストグラムを参考に、露出をマイナス方向に補正して再度撮影すると良い結果が得られます。

■ ヒストグラムについて

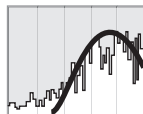
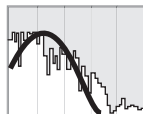
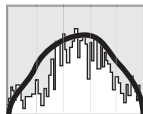
- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。
- 撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

❶ 中央を中心とした山になっている場合は、暗い部分、中間調、明るい部分がバランスよく分布した適正露出の画像となります。

❷ 極端に左に寄っている場合は、暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像となります。夜景など黒いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

❸ 極端に右に寄っている場合は、明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像となります。白いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

ヒストグラムの表示例

❶適正な明るさの画像　　❷暗い画像　❸明るい画像

ヒストグラム

- **撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合はヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
  - フラッシュが発光するとき
  - フラッシュが閉じているとき
    ① 暗いところで、液晶モニター / ファインダーの明るさが正確に表示できないとき
    ② 適正露出にならないとき
- 動画撮影モード [動画]、マルチ再生、再生ズーム時はヒストグラムは表示されません。
- 撮影時のヒストグラムはめやすです。
- 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。
- 白とびは、オートレビューまたはレビュー時のハイライト表示で確認してください。（P29）

記録画素数と記録枚数について

つづく

アスペクト設定		4:3						
記録画素数		8M(8M：3264×2448 画素)				5M(5M EZ：2560×1920 画素)		
クオリティ		TIFF			RAW	TIFF		
カード	16 MB	0 枚	約 3 枚	約 7 枚	約 0 枚	0 枚	約 5 枚	約 11 枚
	32 MB	約 1 枚	約 7 枚	約 15 枚	約 1 枚	約 1 枚	約 12 枚	約 24 枚
	64 MB	約 2 枚	約 15 枚	約 31 枚	約 3 枚	約 3 枚	約 25 枚	約 49 枚
	128 MB	約 4 枚	約 31 枚	約 62 枚	約 7 枚	約 8 枚	約 51 枚	約 100 枚
	256 MB	約 9 枚	約 61 枚	約 120 枚	約 13 枚	約 15 枚	約 99 枚	約 195 枚
	512 MB	約 19 枚	約 120 枚	約 240 枚	約 27 枚	約 30 枚	約 195 枚	約 380 枚
	1 GB	約 38 枚	約 240 枚	約 480 枚	約 54 枚	約 61 枚	約 390 枚	約 770 枚
	2 GB	約 77 枚	約 490 枚	約 970 枚	約 105 枚	約 125 枚	約 790 枚	約 1530 枚

アスペクト設定		4:3					
記録画素数		3M(3M EZ：2048×1536 画素)			2M(2M EZ：1600×1200 画素)		
クオリティ		TIFF			TIFF		
カード	16 MB	約 1 枚	約 9 枚	約 17 枚	約 2 枚	約 14 枚	約 28 枚
	32 MB	約 3 枚	約 19 枚	約 37 枚	約 4 枚	約 30 枚	約 59 枚
	64 MB	約 6 枚	約 39 枚	約 75 枚	約 10 枚	約 62 枚	約 120 枚
	128 MB	約 12 枚	約 79 枚	約 150 枚	約 20 枚	約 125 枚	約 240 枚
	256 MB	約 24 枚	約 150 枚	約 290 枚	約 39 枚	約 240 枚	約 470 枚
	512 MB	約 48 枚	約 300 枚	約 590 枚	約 78 枚	約 480 枚	約 940 枚
	1 GB	約 96 枚	約 610 枚	約 1180 枚	約 155 枚	約 970 枚	約 1880 枚
	2 GB	約 195 枚	約 1220 枚	約 2360 枚	約 310 枚	約 1920 枚	約 3610 枚

アスペクト設定		4:3			3:2			
記録画素数		1M（1M EZ：1280×960）			7M（7M：3248×2160 画素）			
クオリティ		TIFF			TIFF			RAW
カード	16 MB	約 3 枚	約 22 枚	約 41 枚	約 0 枚	約 4 枚	約 8 枚	約 0 枚
	32 MB	約 7 枚	約 46 枚	約 86 枚	約 1 枚	約 8 枚	約 17 枚	約 1 枚
	64 MB	約 15 枚	約 94 枚	約 175 枚	約 2 枚	約 17 枚	約 35 枚	約 3 枚
	128 MB	約 31 枚	約 190 枚	約 350 枚	約 5 枚	約 36 枚	約 71 枚	約 7 枚
	256 MB	約 61 枚	約 370 枚	約 690 枚	約 10 枚	約 70 枚	約 135 枚	約 15 枚
	512 MB	約 120 枚	約 730 枚	約 1370 枚	約 21 枚	約 135 枚	約 270 枚	約 30 枚
	1 GB	約 240 枚	約 1470 枚	約 2740 枚	約 43 枚	約 270 枚	約 540 枚	約 60 枚
	2 GB	約 490 枚	約 2920 枚	約 5120 枚	約 87 枚	約 560 枚	約 1090 枚	約 120 枚

アスペクト設定		3:2					
記録画素数		4.5M（4.5M EZ：2560×1712 画素）			2.5M（2.5M EZ：2048×1360 画素）		
クオリティ		TIFF			TIFF		
カード	16 MB	約 1 枚	約 6 枚	約 12 枚	約 1 枚	約 10 枚	約 19 枚
	32 MB	約 2 枚	約 13 枚	約 27 枚	約 3 枚	約 21 枚	約 41 枚
	64 MB	約 4 枚	約 28 枚	約 55 枚	約 6 枚	約 44 枚	約 84 枚
	128 MB	約 8 枚	約 57 枚	約 110 枚	約 14 枚	約 89 枚	約 170 枚
	256 MB	約 17 枚	約 110 枚	約 210 枚	約 27 枚	約 170 枚	約 330 枚
	512 MB	約 34 枚	約 220 枚	約 430 枚	約 54 枚	約 340 枚	約 650 枚
	1 GB	約 69 枚	約 440 枚	約 860 枚	約 105 枚	約 680 枚	約 1310 枚
	2 GB	約 140 枚	約 890 枚	約 1700 枚	約 210 枚	約 1360 枚	約 2560 枚

アスペクト設定		16:9						
記録画素数		5.5M (5.5M：3072×1728 画素)				2M (2M EZ：1920×1080 画素)		
クオリティ		TIFF	ファイン	スタンダード	RAW	TIFF	ファイン	スタンダード
カード	16 MB	約 0 枚	約 5 枚	約 10 枚	約 1 枚	約 2 枚	約 13 枚	約 25 枚
	32 MB	約 1 枚	約 11 枚	約 22 枚	約 2 枚	約 4 枚	約 28 枚	約 54 枚
	64 MB	約 3 枚	約 23 枚	約 46 枚	約 4 枚	約 9 枚	約 58 枚	約 110 枚
	128 MB	約 7 枚	約 47 枚	約 93 枚	約 9 枚	約 18 枚	約 115 枚	約 220 枚
	256 MB	約 14 枚	約 92 枚	約 180 枚	約 18 枚	約 36 枚	約 230 枚	約 430 枚
	512 MB	約 28 枚	約 180 枚	約 350 枚	約 36 枚	約 72 枚	約 450 枚	約 860 枚
	1 GB	約 57 枚	約 360 枚	約 710 枚	約 72 枚	約 145 枚	約 910 枚	約 1720 枚
	2 GB	約 115 枚	約 740 枚	約 1420 枚	約 145 枚	約 290 枚	約 1800 枚	約 3410 枚

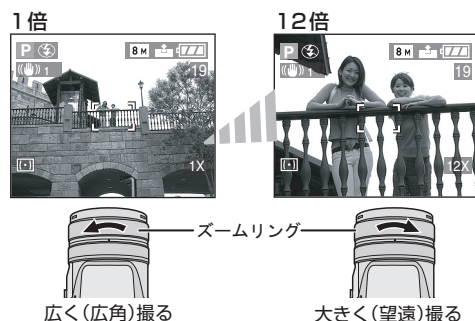
- アスペクトとは画像の縦横比のことです。アスペクト設定については 81 ページをお読みください。
- [RAW] を選択すると、記録画素サイズは各アスペクト比の最大記録画素数に固定されます。
- 大きい記録画素数を選ぶと、鮮明にプリントすることができます。小さい記録画素数を選ぶと、より多く記録できます。（P82）
- EZ とは「Extra Optical Zoom」の略で、拡張光学ズームを表します。EZ の付いた記録画素数が選択されているときは、ズーム倍率が最大 19.1 倍（デジタルズーム [OFF] 設定時）まで拡張されます。（P35）
- クオリティについては 83 ページをお読みください。
- 記録枚数はめやすです。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録枚数は変動します。
- 液晶モニター / ファインダーに表示される残り枚数は、撮影された枚数分、減少しない場合があります。

ズームについて

光学ズームで撮る

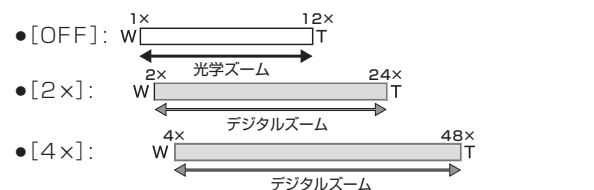
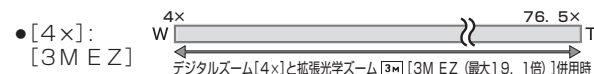
モードダイヤル設定：P A S M 🎞 SCN1 SCN2 A

光学ズーム 12 倍までの範囲で、人や物を大きく撮ったり風景などを広角に撮ることができます。

広く(広角)撮る　　大きく(望遠)撮る

- 画像はレンズによってわずかにゆがんで撮影されます。これをディストーション（歪曲収差）といいます。広角にして近づくほどディストーションは大きくなります。
- ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- ズーム倍率はめやすです。
- **ズームリングを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。**

デジタルズームで撮る

モードダイヤル設定：P A S M 🎞 SCN1 SCN2

撮影メニュー（P78）で [デジタルズーム] を [2×] または [4×] に設定すると、最大 48 倍まで拡大が可能になります。（ただし、拡張光学ズーム時は除く）

■デジタルズームと拡張光学ズームを併用することもできます。
例：デジタルズーム[4×]と拡張光学ズーム3M(3M EZ）併用時

- 以下の場合は、デジタルズームが一時的に [OFF] になります。
  - オートモード [A] で撮影しているとき（P42）
  - クオリティを [RAW] に設定しているとき（P83）
  - 撮影メニューの [コンバージョン] を [ ] に設定しているとき（P91）
- デジタルズームは拡大するほど画質が劣化します。
- デジタルズーム時は、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー（P53）を使って撮影することをおすすめします。
- ズーム倍率はめやすです。
- デジタルズーム時は、通常よりも大きな AF エリアが表示され、AF エリアは中央 1 点のみとなります。（P84）

拡張光学ズーム（EZ）で撮る

モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2 A

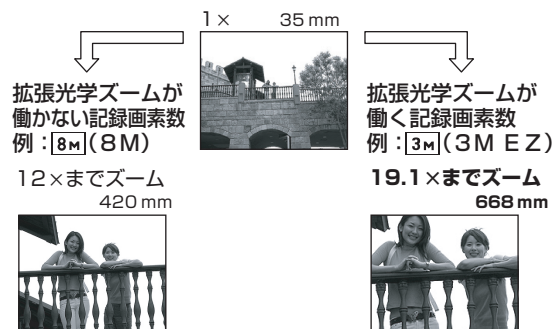
通常、光学ズームを使うと１２倍まで望遠で撮影できますが、拡張光学ズームが働く記録画素数 [3M] （3M EZ）などに設定すると、拡張光学ズームが働き、下図のようにズーム倍率が拡大されます。

1×　35 mm

拡張光学ズームが働かない記録画素数
例：8M（8M）

12×までズーム
420 mm

拡張光学ズームが働く記録画素数
例：3M（3M EZ）

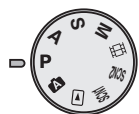
19.1×までズーム
668 mm

■ 記録画素数と最大ズーム倍率

アスペクト設定	記録画素数	最大ズーム倍率	拡張光学ズーム
4:3	8M (8M)	12 倍	×
3:2	7M (7M)		
16:9	5.5M (5.5M)		
4:3	5M (5M EZ)	15.3 倍	○
3:2	4.5M (4.5M EZ)		
4:3	3M (3M EZ)	19.1 倍	
	2M (2M EZ)		
	1M (1M EZ)		
3:2	2.5M (2.5M EZ)		
16:9	2M (2M EZ)		

■ 拡張光学ズームの仕組み

- 例えば [3M]（3M EZ）（300 万画素相当）に設定すると、CCD の持つ 8M（800 万画素相当）の領域のうち、3M（300 万画素相当）分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

- 拡張光学ズームは、デジタルズームより画質の劣化を気にすることなく、ズーム倍率を拡大することができます。
- 拡張光学ズームが働く記録画素数では、ズーム操作をすると、液晶モニターに拡張光学ズームアイコン [EZ] が表示されます。
- 拡張光学ズーム時、W 端付近ではズームの動きが速くなります。
- 拡張光学ズーム時 T 端付近でズームリングを動かすと、ズーム倍率の数字が連続して変化しないことがありますが、故障ではありません。
- 撮影メニューの [デジタルズーム] を [ON] に設定すると、デジタルズームを使用でき、より大きく撮ることができます。ただし、画質は劣化します。(P34)
- 動画撮影モード [動画] では、拡張光学ズームは働きません。

モードダイヤルについて

本機には撮影シーンに合わせて使用できるモードダイヤルがあります。お好みのモードを選んで、撮影のバリエーションを広げてお楽しみください。
モードダイヤルはゆっくり確実に回してください。

P プログラム AE モード（P37）
露出をカメラにまかせて撮影します。

A 絞り優先 AE モード（P63）
設定した絞り値からシャッタースピードが自動的に決まり、撮影できます。

S シャッター優先 AE モード（P63）
設定したシャッタースピードから絞り値が自動的に決まり、撮影できます。

M マニュアル露出モード（P64）
絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

動画撮影モード（P67）
音声付き動画を撮影します。

SCN1 シーンモード 1、
SCN2 シーンモード 2（P69）
撮影シーンに合わせて撮りたいときに。
セットアップメニューの [シーンメニュー]（P25）を [OFF] にし、よく使うシーンモードを [SCN1]、[SCN2] のそれぞれのダイヤルに設定しておくこともできます。
すばやく選ぶことができ、また操作の手間を最小限にすることができ便利です。

▶ 再生モード（P58）
撮った画像を再生します。

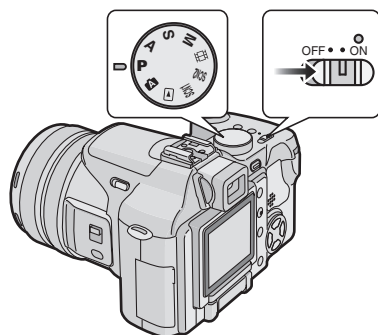
A オートモード（P42）
初心者の方でも簡単に撮影できます。

撮影する（P：プログラム AE）

つづく

モードダイヤル設定：P

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。

- レンズキャップを外す。
- 電源を [ON] にする。
- モードダイヤルをプログラム AE [P] モードにする。

- 電源表示ランプ（緑）が点灯します。点滅した場合は、バッテリー残量がありません。満充電されたバッテリーを入れてください。

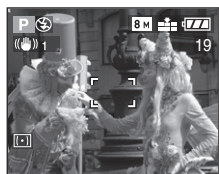
ピントを合わせたい位置に AF エリアを合わせ、半押しする

- フォーカス表示が点灯し、シャッタースピードと絞り値が表示されます。
- AF モードを 9 点または3点高速に設定している場合は、ピントが合うまで AF エリアは表示されません。(P84)
- プログラムシフトについては 39 ページ、AF エリア選択については 85 ページをお読みください。

全押しで撮影

撮影する

	ピントが合っていないとき	ピントが合ったとき
フォーカス表示	点滅（緑）	点灯（緑）
AF エリア	白→赤 または AF エリアなし	白→緑
フォーカス音	ピピピピッ	ピピッ

■ 撮りたい被写体が AF エリアから外れている場合（AF/AE ロック）

左のような構図で人物の写真を撮影したい場合、被写体が AF エリアから外れているので、そのままシャッターボタンを押すだけでは背景などにピントが合ってしまい、被写体にピントが合いません。

このようなときは、

❶被写体に AF エリアを合わせる
❷**シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する
- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。

❸**シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かす
❹シャッターボタンを全押しする

- AF/AE ロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

AF：「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能です。

AE：「Auto Exposure」の略で、被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能です。

■ ピントについて

- ピントが合う範囲は 30 cm ～∞（W 端時）、2 m ～∞（T 端時）です。
- シャッターボタンを一度に全押しすると、手ぶれをしたり、ピントが合わなかったりします。
- フォーカス表示が点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- 何度ピントを合わせようとしても合わない場合は、電源を [OFF] にしてから、もう一度 [ON] にしてください。
- 以下のような場合はピントがうまく合いません。
  ❶遠くと近くのものを同時に撮る
  ❷汚れたガラスの向こうのものを撮る
  ❸キラキラと光るものが周りにある
  ❹暗い場所を撮る
  ❺動きの速いものを撮る
  ❻コントラスト（濃淡）の低いものを撮る
  ❼手ぶれしている
  ❽高輝度（非常に明るいもの）を撮る
  置きピン（P47）、AF/AE ロックを使って撮影することをおすすめします。暗い場所では、ピント合わせのために AF 補助光ランプ（P86）が点灯することがあります。
- フォーカス表示が出てピントが合っても、シャッターボタンを離すとピントが解除されます。もう一度半押ししてピントを合わせてください。
- AF 動作中にズームリングを回さないでください。

つづく

■ 手ぶれについて

- シャッターボタンを押し込む際に、手ぶれにお気を付けください。
- シャッタースピードが遅くなり手ぶれしやすいときは、手ぶれ警告表示が出ます。

- 手ぶれ警告表示が出るときは、三脚の使用をおすすめします。または撮る姿勢（P28）にお気を付けください。三脚使用時にはセルフタイマー（P53）を使うと、シャッターボタンを押したときのカメラぶれを防ぐことができます。
- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  - 赤目軽減スローシンクロ（P49）
  - 夜景ポートレートモード（P71）/ 夜景モード（P72）/ キャンドルモード（P74）/ パーティーモード（P74）/ 花火モード（P75）/ 星空モード（P76）
  - シャッタースピードを遅くした場合（P63、64 ）

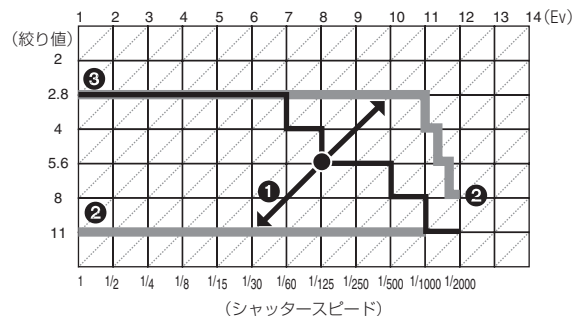
■ プログラムシフトについて

プログラム AE で本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。
プログラム AE での撮影時に、より背景をぼかしたい（絞り値を小さくする）、動きを表現したい（シャッタースピードを遅くする）などの設定が可能です。

- シャッターボタンを半押しして、液晶モニター / ファインダーに絞り値とシャッタースピードの数値が表示されている間に（約 10 秒間）、リアダイヤルを回してプログラムシフトしてください。

リアダイヤル

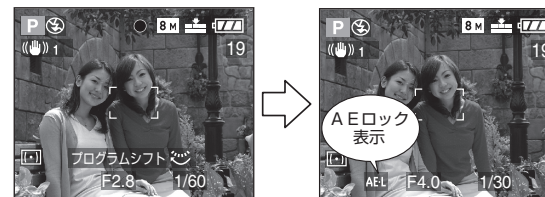
- プログラムシフトされている場合は、液晶モニター/ファインダーにプログラムシフト表示が出ます。

撮る・基本

<プログラムシフトの例>

❶ プログラムシフト量
❷ プログラムシフト線図
❸ プログラムシフト限界

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- プログラムシフトが有効になってから、10 秒以上経過すると、プログラムシフト設定可能な状態は解除され通常のプログラム AE に戻りますが、プログラムシフトされた設定は維持されています。
- プログラムシフトは、電源を [OFF] にすると解除されます。
- 被写体の明るさによっては、プログラムシフトできない場合があります。

■ AE ロックボタンについて

シャッターボタンを半押しして最初に露出を決めたあとで、構図を変える必要がある撮影時に便利です。

❶ 露出を決めたい被写体に本機を向ける
❷ シャッターボタンを半押しする
❸ 絞り値とシャッタースピードが表示されたら、[AE LOCK] ボタンを押す

- 被写体の明るさが変わっても、露出は固定されます。
- AEロック時でも、半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- やり直すときは、もう一度 [AE LOCK] ボタンを押して AE ロックを解除してください。
- AE ロック時でも、プログラムシフトを設定できます。
- マニュアル露出、動画撮影モード [▦]、シーンモード、オートモードでは [AE LOCK] ボタンは使えません。
- シャッターボタンを半押しせずに [AE LOCK] ボタンを押しても、AE ロックを行うことができます。

■ 露出について

- 適正露出にならないときは、シャッターボタンを半押ししたときに、絞り値とシャッタースピードの数値の色が赤色になります。（ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません）

- 液晶モニター / ファインダーの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。特に暗い場所でスローシャッターで撮影するときなどは、液晶モニター / ファインダー上は暗く映りますが、実際は明るく撮影されます。
- 晴天の空や雪など、明るい被写体が画像の大半を占めると、暗く撮影される場合があります。その場合は、露出を補正してください。（P54）

- シャッターボタンを押すと、一瞬液晶モニターの画面が明るくなったり、暗くなったりする場合があります。これはピントを合わせやすくするためで、記録される画像に影響はありません。
- 撮影前に、時計設定を確認することをおすすめします。（P20）
- パワーセーブの時間が設定されているとき（P24）は、設定された時間内に本機の操作をしないと自動的に電源が切れます。再び本機の操作をするときは、シャッターボタンを半押しするか、電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
- 被写体までの距離が撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していてもピントが合っていない場合があります。

オートモードで撮る

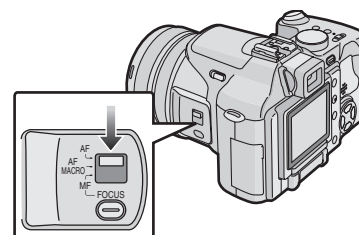
モードダイヤル設定：[A]

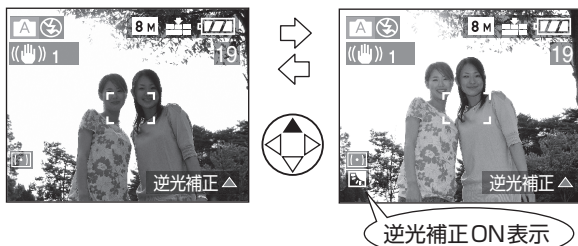
初心者の方でも簡単に撮れます。誤操作の原因になる設定項目がお買い上げ時の設定に固定されるため、失敗が少なく撮影することができます。

■ オートモード時の設定内容

オートモード時は、誤操作による失敗を防ぐため下記の項目はお買い上げ時の状態の設定に固定されます。

項目	設定内容
ホワイトバランス（P79）	AUTO
ISO 感度（P81）	AUTO
音声記録（P83）	OFF
測光モード（P84）	評価測光
AF モード（P84）	1 点
AF 連続動作（P86）	OFF
AF 補助光（P86）	ON
デジタルズーム（P87）	OFF
画質調整（P87）	標準
コマ撮りアニメ（P88）	設定不可
外部フラッシュ（P93）	PRESET

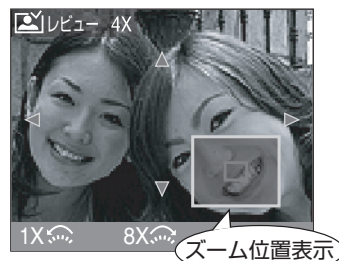
● フォーカス切換スイッチを [AF] または [AF MACRO] に切り換えてください。

■ 逆光補正機能

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。
このとき、人物など被写体が暗く写ります。
▲ を押すと、[ ]（逆光補正 ON 表示）が表示され、逆光補正が働きます。画像全体を明るくすることにより、逆光を補正します。

- [ ] が表示されているときに ▲ を押すと、[ ] が消え、逆光補正が解除されます。
- 逆光補正機能使用時は、フラッシュを使用することをおすすめします。
- 逆光補正機能使用時にフラッシュを使用する場合は、強制発光 [ ] に固定されます。

- フォーカス切換スイッチを [AF] にしていても [AF MACRO] 同様に、W 端で 5 cm まで接近して撮影できます。
- [アスペクト設定]、[記録画素数]、[クオリティ]、[コンバージョン] のオートモードでの設定内容は、他の撮影モードにも反映されます。
- オートモード時は、次の機能が使えません。
  - ホワイトバランス微調整
  - 露出補正
  - オートブラケット
  - 音声記録
  - フラッシュ発光量調整
  - デジタルズーム
  - カラーエフェクト
  - 画質調整
  - AE ロック

撮影した画像を確認する（レビュー）

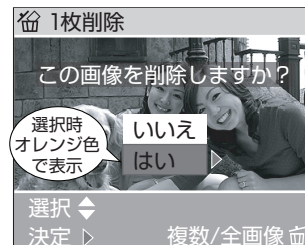
モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2 A

- ▼（REV）を押すと最後に撮影した画像が約 10 秒間表示されます。
- シャッターボタンを半押し、または再度▼(REV)を押すとレビューが解除されます。
- ◀/▶ を押すと前後の画像を確認することができます。
- 撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎたりしたときは、露出を補正してください。（P54）

1倍⇔4倍⇔8倍

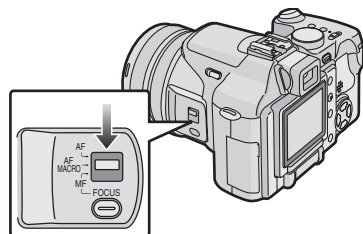
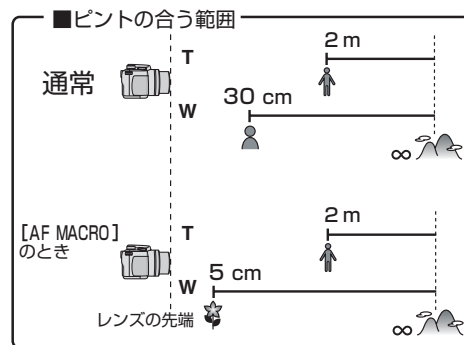
フロントダイヤル

位置を移動する

- 倍率を変えたり、表示する位置を移動させると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示され、拡大部分の位置を確認することができます。

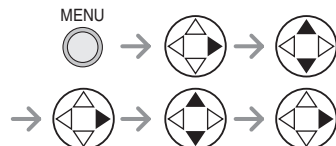
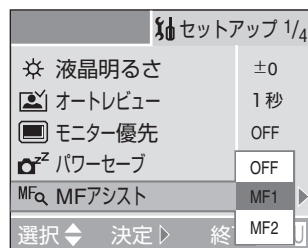
撮影した画像をレビュー中に削除することもできます（クイック削除）

- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- 複数・全画像削除もできます。削除の方法については61 ページをお読みください。

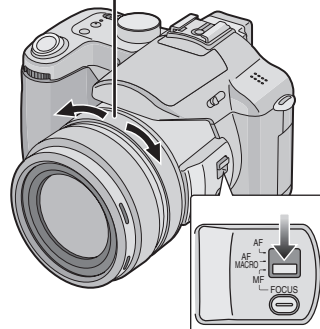
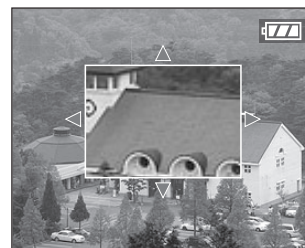
接近して撮る（AF マクロ）

花などをアップにして撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W 端：1 倍）にすると、レンズから 5 cm まで接近して撮影できます。

フォーカス切換スイッチを [AF MACRO] に合わせる

- 三脚の使用をおすすめします。
- 被写体が近い場合は、フォーカスの合っている範囲（被写界深度）が非常に狭くなりますので、フォーカス後、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- 被写体までの距離が撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- フラッシュで撮影できる範囲は、約 30 cm～7 m です。（W 端、[ISO AUTO] 設定時）

手動でピントを合わせて撮る（MF: マニュアルフォーカス）

モードダイヤル設定：P A S M [動画] SCN1 SCN2 [A]

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

セットアップメニューから [MFアシスト] を選び、[MF1] または [MF2] に設定する

- 設定終了後、シャッターボタンを半押しまたは [MENU] ボタンを押して、メニューを終了してください。

フォーカス切換スイッチを [MF] に合わせ、フォーカスリングを回してピントを合わせる

画面中央部にMFアシストが表示されます

- フォーカスリングの操作をやめると、約 2 秒後に MF アシストは消えます。
- セットアップメニューで [MF アシスト] を [OFF] に設定することもできます。

つづく

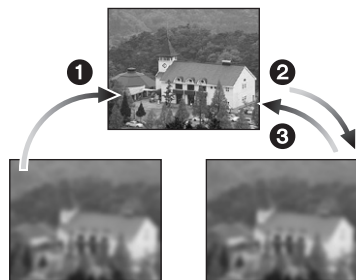
■ MF アシストについて

[MF アシスト] を [MF1] または [MF2] に設定したときは、フォーカスリングを回すと、MF アシストとして画面が拡大表示され、ピントを合わせやすくなります。

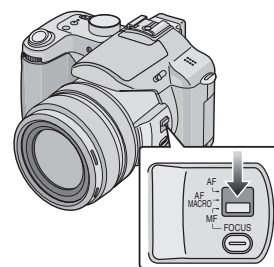
- [MF1]： 画面中央部が拡大表示されます。画面全体の構図を決めながら、ピントを合わせることができます。
- [MF2]： 画面全体が拡大表示されます。ピントの動きが分かりにくい W 端でのピント合わせに便利です。
- [OFF]： 拡大表示されません。

以下のときは、MF アシストは消えます。

- フォーカスリングの操作を停止して、約２秒経過したとき
- シャッターボタンを半押ししたとき

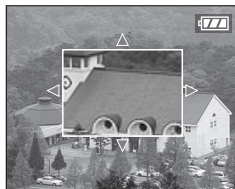
■ マニュアルフォーカスのテクニック

❶ フォーカスリングをゆっくり回す
❷ さらに少し回す
❸ ゆっくり戻しながら微調整する

■ ワンショット AF

フォーカス切換スイッチを [MF] にして [FOCUS] ボタンを押すことにより、オートフォーカスでピントを合わせることができます。
置きピンをするときなどに便利です。

■ 置きピン

流し撮り（P77）などオートフォーカスではピントが合いにくい、動きの速い被写体を撮影する場合に、あらかじめ被写体を撮影するポイントに、ピントを合わせておくテクニックです。
運動会でゴールしてくる子供、結婚式での新郎新婦など、被写体との距離が決まっている場合の撮影に最適です。

■ 拡大部分移動について

MF アシストで画面を拡大中に、拡大部分を移動することができます。ピントを合わせる位置を変えたいときに便利です。

❶ フォーカスリングを回す

❷ ▲/▼/◀/▶ で拡大部分を移動する

- 約 2 秒後に拡大は解除されます

- 以下の操作を行うと、元の A F エリア位置に戻ります。
  - フォーカス切換スイッチを [AF] または [AF MACRO] に切り換えたとき
  - 記録画素数、アスペクトを変更したとき
  - 電源を [OFF] にしたとき

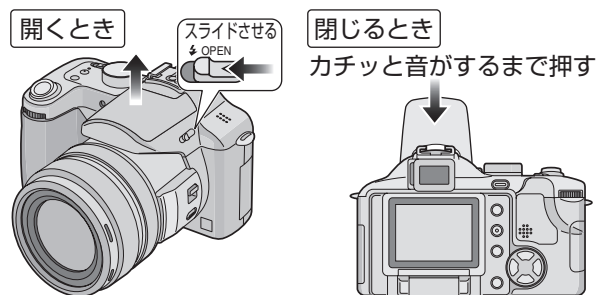
- 動画撮影モード[ ]のときも、マニュアルフォーカスで撮影できますが、動画の記録中は拡大表示はされません。
- 広角側でピントを合わせると、ズームを望遠側にしたときにピントが合っていない場合があります。再度、合わせ直してください。
- マニュアルフォーカス設定時は、AF連続動作の設定はできません（P86）
- **動画撮影時、音声記録時、アフレコ時はフォーカスリングやズームリングを回すと、レンズ鏡筒がこすれる音が入る場合があります。**

内蔵フラッシュを使って撮る

つづく

モードダイヤル設定： P A S M SCN1 SCN2 A

フラッシュを設定すると、撮影状況に応じて内蔵フラッシュを使って撮影できます。

■ フラッシュを開く / 閉じる

- 使わないときは、フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュが閉じているときは、発光禁止 [⊛] に固定されます。

■ フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定します。

選択できる内蔵フラッシュ設定については、次ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をご覧ください。

項目	設定内容
⚡A：オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
⚡A◎： 赤目軽減オート （白色）	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。そのときフラッシュが予備発光し、人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえ、そのあと撮影のために再び発光します。 ● **フラッシュが2回発光します。1回目は予備発光ですので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。** ● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
⚡： 強制発光 ⚡◎： 赤目軽減強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。** ● **シーンモードのキャンドル（P74）、パーティー（P74）時のみ、赤目軽減強制発光になります。**
⚡S◎： 赤目軽減スローシンクロ （オレンジ色）	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
⊛： 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって、異なります。（○：設定可、×：設定不可）

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡◎	⚡S◎	⊘
P	○	○	○	×	○	○
A	○	○	○	×	○	○
S	○	○	○	×	×	○
M	○	○	○	×	×	○
A	×	○※	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	○
	×	×	×	×	○	○
	×	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	×	×	×	○	○	○
	×	×	×	○	○	○
	×	×	×	×	×	○
	○	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○

※逆光補正時は設定できません。

■ フラッシュで撮影できる範囲

ISO 感度	フラッシュ調光範囲	
	W 端時	T 端時
AUTO	約30 cm〜約7.0 m	約30 cm〜約5.3 m
ISO80	約30 cm〜約3.2 m	約30 cm〜約2.4 m
ISO100	約30 cm〜約3.5 m	約30 cm〜約2.6 m
ISO200	約40 cm〜約5.0 m	約40 cm〜約3.8 m
ISO400	約60 cm〜約7.0 m	約60 cm〜約5.3 m

- ピントが合う範囲については、38 ページをお読みください。
- ISO 感度については 81 ページをお読みください。

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

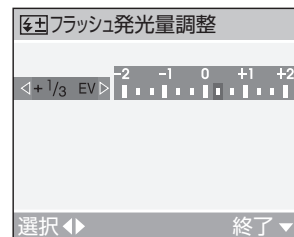
フラッシュモード	シャッタースピード
：発光禁止	1/4 〜 1/2000 秒（オートモード時）
	1 〜 1/2000 秒（プログラム AE モード時）
：オート	1/30 〜 1/2000 秒
：赤目軽減オート	1/30 〜 1/2000 秒
：強制発光 ：赤目軽減強制発光	1/30 〜 1/2000 秒
：赤目軽減スローシンクロ	1 〜 1/2000 秒

- 絞り優先 AE、シャッター優先 AE、マニュアル露出については、66 ページをお読みください。
- シーンモードでは、上記設定と異なる場合があります。
  - 夜景モード時：8 〜 1/2000 秒
  - 赤ちゃんモード（フラッシュ使用時）：1/30 〜 1/2000
  - 星空モード時：15 秒、30 秒、60 秒

つづく

- フラッシュ使用時はISO感度を[AUTO]に設定すると、自動的に[ISO80]～[ISO400]まで高くしていきます。
- ノイズが気になるときは、[画質調整]の[ノイズリダクション]を[高]にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目を[低]にして撮影することをおすすめします。(P87)
- 動画モード [ ]、シーンモードの風景（P71）、夜景（P72）、花火（P75）、星空（P76）のときは、フラッシュを開けていても発光禁止 [ ] に固定されます。

■ フラッシュの発光量を調整する

被写体が小さい、反射率が極端に高い、低いときは、フラッシュの発光量を調整してください。

▲( ) ボタンを数回押し、[フラッシュ発光量調整]を表示させ、フラッシュの発光量を決める

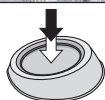
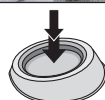
- −2 EVから+2 EVの範囲で1/3 EVごとに調整できます。
- 設定したフラッシュ発光量は、電源を[OFF]にしても記憶しています。
- 動画モード[ ]、オートモード[A]、シーンモードの風景(P71)、夜景(P72)、花火(P75)、星空(P76)のときは、フラッシュ発光量調整はできません。

撮る・基本

- **近くでフラッシュ発光部を直接見ないでください。**
- **フラッシュに物を近付けたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。**
- **フラッシュ発光部を指などでふさがないでください。**
- フラッシュが発光する場合、シャッターボタンを半押ししたときにフラッシュマークが赤に変わります。
- フラッシュ調光範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュが発光しても撮影できない場合があります。カードアクセス表示が消えてから撮影してください。
- 手ぶれ警告表示が出ているときは、フラッシュの使用をおすすめします。
- 連写およびオートブラケット設定時でフラッシュが発光する場合、1枚しか撮影できません。
- フラッシュ充電中は、フラッシュマークが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- **レンズフードが付いた状態でフラッシュ撮影すると、フラッシュの光がフードでさえぎられることがあります。**
- 赤目軽減オートなどの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが [☼（晴天）、⚡WB（フラッシュ）は除く]、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- シャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 外部フラッシュについては、93 ページをお読みください。
- コンバージョンレンズ（別売）使用時は、内蔵フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。

セルフタイマーを使って撮る

モードダイヤル設定： P A S M SCN1 SCN2 A

セルフタイマーを切り換える

半押しでピントを合わせる　　全押しで撮影

撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10秒（または2秒）後に撮影動作が開始されます。

セルフタイマーランプ

- セルフタイマー動作中に[MENU]ボタンを押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

- セルフタイマーを 2 秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラぶれを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのために AF 補助光（P86）として明るく点灯することがあります。
- 連写のときにセルフタイマーを設定すると、10秒または2秒後に連写を行います。連写枚数は 3 枚固定になります。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
（三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください）

露出を補正して撮る

モードダイヤル設定：P A S

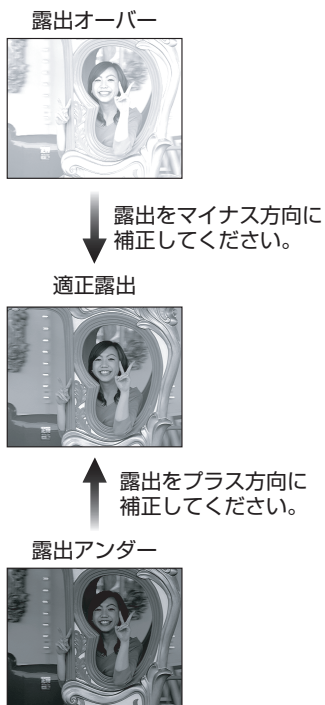
被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出オーバー

露出をマイナス方向に
補正してください。

適正露出

露出をプラス方向に
補正してください。

露出アンダー

▲( )ボタンを数回押し、[露出補正]を表示させ、露出を補正する

- −2 EVから+2 EVの範囲で1/3 EVごとに補正できます。

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- 露出補正値は、液晶モニター / ファインダーの左下に表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源を[OFF]にしても記憶しています。
- シーンモードの星空モード（P76）では露出補正できません。

露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）

モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2

1 回シャッターを押すと、露出の補正幅に従って自動的に 3 枚撮影します。
露出が異なる 3 枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット ±1 EVの場合

±0 EV

1枚目

－1 EV

2枚目

＋1 EV

3枚目

▲( ) ボタンを数回押し、[オートブラケット] を表示させ、露出の補正幅を決める

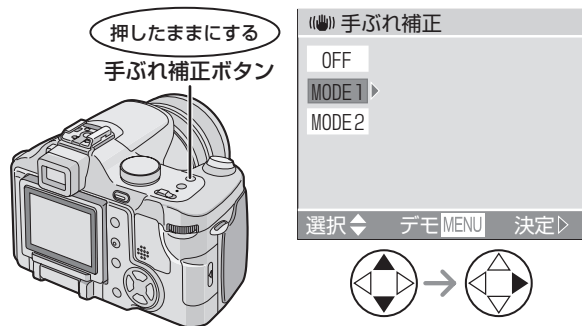
- –1 EV から +1 EV の範囲で 1/3 EV ごとに選択できます。
- オートブラケット撮影をしない場合は [OFF] を選んでください。
- オートブラケットを設定すると、液晶モニター / ファインダーの左下に、オートブラケットのアイコンが表示されます。

- 残り枚数が2枚以下の場合、オートブラケット撮影はできません。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面左下に露出補正値が表示されます。
- フラッシュが発光するときやシーンモードの星空モード（P76）のときは、1 枚しか撮影できません。
- オートブラケットを設定すると、音声付き静止画を撮影することができません。
- クオリティを [TIFF] または [RAW] に設定すると、オートブラケット撮影できません。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- オートブラケットを設定すると、オートレビューの設定に関わらずオートレビューされます。（拡大はされません）また、このときセットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
- 設定したオートブラケットは、電源を [OFF] にしていても記憶しています。
- シャッター優先 AE またはマニュアル露出時は、シャッタースピードが 1 秒より長くなると、オートブラケットが無効になります。

手ぶれを補正して撮る

モードダイヤル設定： P A S M [動画] SCN1 SCN2 [A]

手ぶれを感知して補正します。特に望遠を使って撮影する場合や、シャッタースピードが遅くなる室内での撮影時に有効です。

手ぶれ補正ボタンを押したままにすると、手ぶれ補正モード選択メニューが表示されます。

手ぶれ補正モードを選択してください。

- [MODE1] ((手))1：
  撮影モード時、常時手ぶれを補正します。望遠などで構図を決めて撮影するときに安定して撮ることができます。
- [MODE2] ((手))2：
  シャッターが切れる瞬間のみ手ぶれを補正します。より高い補正効果が得られます。
- [OFF] ((手))OFF：
  意図的にぶれのある画像を撮影したいときなどに設定します。

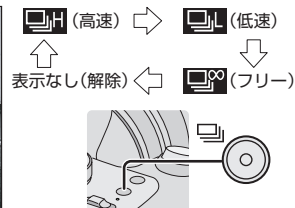
■ 手ぶれ補正デモ(デモンストレーション)

[MENU] ボタンを押すと、手ぶれ補正デモが表示され、終了すると手ぶれ補正モード選択メニューに戻ります。途中で終了する場合は、[MENU] ボタンを押してください。
手ぶれ補正デモ表示中には、撮影はできません。
W 端（1×）でご使用ください。

[メモ]

- 以下の場合、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
  - 手ぶれが大きいとき
  - デジタルズーム時
  - 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - 夜景撮影など、シャッタースピードが極端に遅くなるとき
    シャッターボタンを押し込む際は、手ぶれにお気を付けください。
- シーンモードの星空モード（P76）では [OFF] に固定され、手ぶれ補正モード選択メニューは表示されません。
- 動画撮影モード[動画]またはシーンモードの流し撮りモード（P77）時は、[MODE2] に設定できません。

連写にして撮る

モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2 A

連写設定を切り換えて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。

■ 連写枚数

		(高速)	(低速)	(フリー)
連写速度		3 コマ / 秒※	2 コマ / 秒※	約 2 コマ / 秒
連写枚数	ファイン	最大 5 コマ	最大 5 コマ	カードの空き容量による
	スタンダード	最大 9 コマ	最大 9 コマ	カードの空き容量による

※カードの転送速度に関係なく、連写速度は一定です。

- 上記の連写速度は、シャッタースピードが 1/60 より速く、フラッシュを発光させないときの値です。

- **フリー連写について**
  - カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
  - 途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは記録画素数やカードによって異なります。
- ピントは 1 枚目から固定されます。
- セルフタイマー使用時または外部フラッシュ連写時の連写枚数は、3 枚固定になります。
- 連写設定していると、音声付き静止画を撮影できません。
- フラッシュが発光するときやシーンモードの星空モード(P76)のときは、1 枚しか撮影できません。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。
- クオリティを[TIFF]または[RAW]に設定すると、連写できません。
- 露出、ホワイトバランスは、連写設定によって変わります。高速 [H] 設定時は、最初の 1 枚に対する設定に固定されます。
  低速 [L] およびフリー [∞] 設定時は、1 枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- 連写を設定すると、オートレビューの設定に関わらずオートレビューされます。(拡大はされません)
- セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。

撮る・基本

画像を再生する（▶：再生モード）

モードダイヤル設定：▶

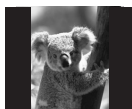
前の画像へ

リアダイヤル

次の画像へ

リアダイヤル

画像を送る

- 最後に撮影した画像の次は、最初の画像になります。
- [回転表示]を[ON]にしている場合、本機を縦に構えて撮影した画像は縦で再生されます。（P100）

■ 早送り / 早戻しをする

再生中に ◀/▶ を押したままにすると、ファイル番号とページ番号のみが更新されます。再生したい画像の番号が表示されたときに ◀/▶ を離すと、その番号の画像が表示されます。

▶：早送り /◀：早戻し

- ◀/▶を押したままにすると、一度に送る画像枚数が増加します。撮影枚数によって送り枚数は異なります。
- ◀/▶を離すと、もう一度1枚単位から開始します。
- 撮影モード時のレビュー再生や、マルチ再生では、1 枚単位でしか早送り / 早戻しはできません。
- 大きな単位で画像を早送り / 早戻しをしているときは、再生したい画像の手前で一度 ◀/▶ を離すと、小さい単位で早送り / 早戻しできます。

- リアダイヤルでも前後に画像を送ることができます。
- 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- パソコンでフォルダー名やファイル名を変更すると再生できない場合があります。
- 本機で再生できるファイル形式は JPEG です。（JPEG 形式でも再生できないものもあります）
- 他機で撮影された静止画を再生すると、再生される画像の画質が劣化して表示されたり、再生できない場合があります。
- 規格外のファイルを再生したときは、フォルダー・ファイル番号が [—] で表示され、画面が黒くなる場合があります。

マルチ再生をする（9画面、16画面、25画面）

モードダイヤル設定：

❶

1画面 ⇨ 9画面 ⇨
フロントダイヤル 16画面 ⇨ 25画面

フロントダイヤルを左側に回して画像を複数画面表示にする

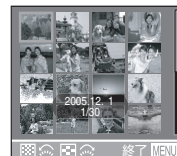
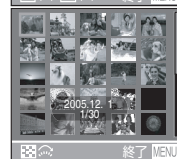
（9 画面表示時の画面）

- 複数画面表示にしたあと、フロントダイヤルをさらに左側に回すと、16 画面、25 画面表示になります。フロントダイヤルを右側に回すと一つ前の画面に戻ります。
- 複数画面表示に変えると、スクロールバーが表示され、記録されている全画像から表示中の画像の位置を確認することができます。

❷

画像を選ぶ

- 選択されている画像の撮影日、選択画像番号 / トータル枚数、またお気に入り [★]、動画 [🎞]、シーンモードの赤ちゃんモード [👶]、月齢 / 年齢などが表示されます。

■ 16画面、25画面表示の例

■ 1 画面表示に戻すには

フロントダイヤルを右側に回すか、[MENU] ボタンを押してください。

- オレンジ色の枠で表示された画像が 1 画面表示されます。

■ マルチ再生中に画像を削除する

[🗑] ボタンを押してください。
確認画面が表示されますので、▼ ボタンで [はい] を選び、▶ボタンを押してください。

- [回転表示] を [ON] にしていても回転表示されません。（P100）
- [DISPLAY] ボタンを押すと、表示ありと表示なしを切り換えることができます。

見る・基本

再生画面を拡大する（再生ズーム）

モードダイヤル設定：▶

フロントダイヤル

1倍 ⇨ 2倍 ⇨ 4倍 ⇨ 8倍 ⇨ 16倍

フロントダイヤルを右側に回して画像を拡大する

- 拡大したあと、フロントダイヤルを左側に回すと、倍率が小さくなります。右側に回すと大きくなります。
- 倍率を変えると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示され、拡大部分の位置を確認することができます。
- [MENU] ボタンを押すと、1 倍に戻ります。

位置を移動させる

- 表示する位置を移動させると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示されます。

■ 再生ズーム中に画像を削除する

[🗑] ボタンを押してください。

確認画面が表示されますので、▼ ボタンで [はい] を選び、▶ ボタンを押してください。

- 再生ズームは、拡大するほど画質が劣化します。
- 他機で撮影した画像は再生ズームできない場合があります。
- 通常の再生で液晶モニター / ファインダーの表示を「表示なし」にしていても (P26)、再生ズーム時は、倍率や操作方法が表示されます。[DISPLAY] ボタンを押すと、表示ありと表示なしを切り換えることができます。1 倍に戻すと、通常の再生での表示に戻ります。

画像を削除する

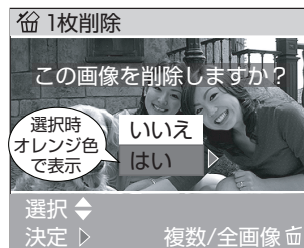
モードダイヤル設定：▶

■1 枚削除

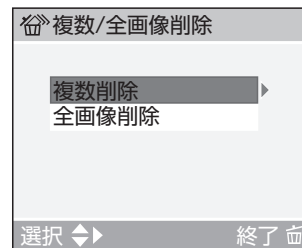
前の画像へ　次の画像へ

リアダイヤル　リアダイヤル

画像を選ぶ

❷

削除する

- 画像削除中に[🗑]が画面に表示されます。

■複数 / 全画像削除

２回押す

[複数削除] または [全画像削除] を選ぶ

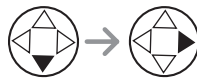
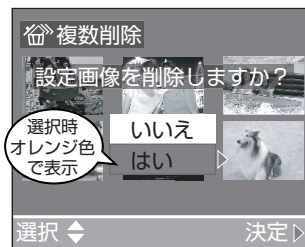
- [複数削除] を選んだ場合は、62 ページ❷、❸の操作をしてください。
- [全画像削除] を選んだ場合は、62 ページ❸の操作をしてください。

見る・基本

つづく

② [複数削除] 選択時のみ

画像を選ぶ

- この手順を繰り返します。
- 設定した画像に [🗑] が表示されます。もう一度 ▼ ボタンを押すと設定が解除されます。
- 設定後、[🗑] ボタンで決定してください。
- プロテクトされていると、設定した画像に [🔑] アイコンが赤く点滅し、画像を削除できません。プロテクト設定を解除してから削除してください。（P104）

削除する

（[複数削除] 選択時の画面）

- [全画像削除]の場合、「全ての画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。

- 画像にお気に入り設定をしているときは（P99）、[複数削除/全画像削除]の選択画面に[★以外全削除]が表示されます。[★以外全削除] を選択すると、[全画像削除] と同じ手順で、お気に入りに設定した画像以外をすべて削除することができます。（ただし、[お気に入り] を [ON] に設定していても、[★] の付いた画像が 1 枚もない場合は、[★以外全削除] を選択できません）
- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- 削除中は電源を[OFF]にしないでください。
- 削除するときは、十分に充電されたバッテリー (P13) またはバッテリーチャージャー/AC アダプター（別売：DMW-CAC1）を使用してください。
- [複数削除]で一度に削除できるのは５０枚までです。
- 枚数が多ければ多いほど、削除するのに時間がかかります。
- [全画像削除]または[★以外全削除]をしても、プロテクト [🔑] された画像（P104）、DCF 規格外のファイル（P58）は削除されません。

絞り / シャッタースピードを決めて撮る

（A：絞り優先 AE）

モードダイヤル設定：A

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

絞り値を設定して撮影する

（S：シャッター優先 AE）

モードダイヤル設定：S

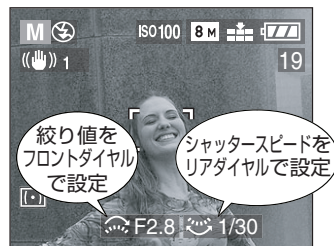
動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

シャッタースピードを設定して撮影する

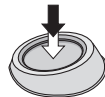
- 設定可能な絞り値とシャッタースピードについては、66 ページをお読みください。
- 液晶モニター / ファインダーの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。レビューまたは再生モードで確認してください。
- ISO感度の[AUTO]の設定はできません。（[AUTO]から絞り優先AEまたはシャッター優先AEに切り換えた場合は、自動的に [ISO100] になります）
- シャッター優先 AE のときは、赤目軽減スローシンクロ [⚡S◎] の設定はできません。
- 明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- 絞り優先 AE のとき、明るすぎる場合は絞り値を大きくし、暗すぎる場合は絞り値を小さくしてください。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚を使うことをおすすめします。

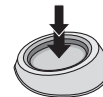
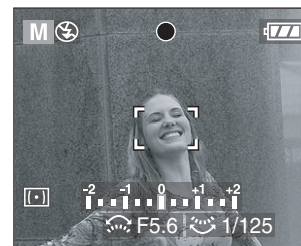
手動で露出を合わせて撮る（M：マニュアル露出）

モードダイヤル設定：M

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して露出を決定します。

フロント
ダイヤル

リアダイヤル

絞り値とシャッタースピードを設定する

シャッターボタンを半押しする

- 露出の状態のめやすを示す、マニュアル露出アシストが約 10 秒間表示されます。
- 適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードを設定し直してください。

撮影する

■ マニュアル露出アシストについて

-2 -1 0 +1 +2	適正露出になります。
-2 -1 0 +1 +2	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
-2 -1 0 +1 +2	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストはめやすです。レビューで確認しながら撮影することをおすすめします。

- 設定可能な絞り値とシャッタースピードについては、66 ページをお読みください。
- マニュアル露出のとき以下の設定はできません。
  - •フラッシュの赤目軽減スローシンクロ [⚡S◎]（P49）
  - •ISO感度を[AUTO]に設定(P81)([AUTO]からマニュアル露出に切り換えた場合は、自動的に [ISO100] になります)
  - •露出補正（P54）
- 液晶モニター / ファインダーの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。レビューまたは再生モードで確認してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。

シャッタースピードと絞り値について

■ シャッター優先 AE

設定可能なシャッタースピード(秒)(1/3 EV ごと)				本機で設定される絞り値
8	6	5	4	F2.8 ～ F11.0
3.2	2.5	2	1.6	
1.3	1	1/1.3	1/1.6	
1/2	1/2.5	1/3.2	1/4	
1/5	1/6	1/8	1/10	
1/13	1/15	1/20	1/25	
1/30	1/40	1/50	1/60	
1/80	1/100	1/125	1/160	
1/200	1/250	1/320	1/400	
1/500	1/640	1/800	1/1000	
1/1300				F4.0 ～ F11.0
1/1600				F5.6 ～ F11.0
1/2000				F8.0 ～ F11.0

■ 絞り優先 AE

設定可能な絞り値(1/3 EV ごと)			本機で設定されるシャッタースピード(秒)
F8.0 ～ F11.0			8 ～ 1/2000
F7.1	F6.3	F5.6	8 ～ 1/1600
F5.0	F4.5	F4.0	8 ～ 1/1300
F3.6	F3.2	F2.8	8 ～ 1/1000

■ マニュアル露出

設定可能な絞り値(1/3 EV ごと)	設定可能なシャッタースピード(秒)(1/3 EV ごと)
F2.8 ～ F3.6	60 ～ 1/1000
F4.0 ～ F5.0	60 ～ 1/1300
F5.6 ～ F7.1	60 ～ 1/1600
F8.0 ～ F11.0	60 ～ 1/2000

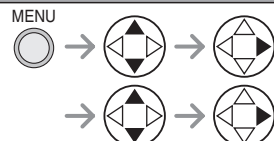
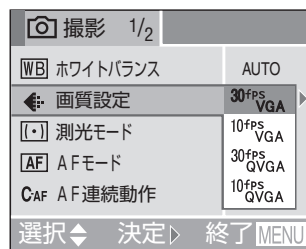
- 上記表の絞り値は、ズーム W 端時の値です。
- ズーム位置によっては、選べない絞り値があります。

つづく

動画を撮る（🎞：動画撮影モード）

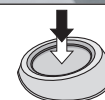
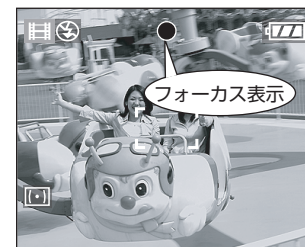
モードダイヤル設定：🎞

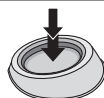
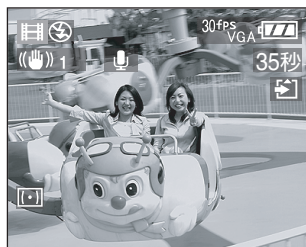
音声付き動画を撮りたいときに合わせてください。

撮影 1/2
WB ホワイトバランス AUTO
画質設定 30fps VGA / 10fps VGA / 30fps QVGA / 10fps QVGA
測光モード
AF AFモード
CAF AF連続動作
選択 決定 終了 MENU

[画質設定] を選び、設定する

- 設定終了後、シャッターボタンを半押しまたは [MENU] ボタンを押して、メニューを終了してください。

項目	記録画素数	コマ数
30fpsVGA	640×480 画素	30 コマ / 秒
10fpsVGA	640×480 画素	10 コマ / 秒
30fpsQVGA	320×240 画素	30 コマ / 秒
10fpsQVGA	320×240 画素	10 コマ / 秒

- [30fpsVGA]または[30fpsQVGA]は、動画をよりなめらかに撮影することができます。
- [10fpsVGA]または[10fpsQVGA]は、なめらかさには欠けますが、長時間撮影することができます。
- [10fpsQVGA] は、ファイルサイズが小さいのでメールなどに添付するのに適しています。

シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。

撮影を開始する

- 残り撮影時間（めやす）が表示されます。
- 本機の内蔵マイクより、音声も同時に記録されます。
- もう一度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。
- 記録途中でカードのメモリーがいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

■ 撮影可能時間

SD メモリーカード	画質設定			
	30fps VGA	10fps VGA	30fps QVGA	10fps QVGA
16 MB	約 5 秒	約 25 秒	約 25 秒	約 82 秒
32 MB	約 16 秒	約 58 秒	約 58 秒	約 175 秒
64 MB	約 38 秒	約 120 秒	約 120 秒	約 360 秒
128 MB	約 82 秒	約 250 秒	約 250 秒	約 740 秒
256 MB	約 160 秒	約 490 秒	約 490 秒	約 1440 秒
512 MB	約 320 秒	約 980 秒	約 980 秒	約 2870 秒
1 GB	約 660 秒	約 1970 秒	約 1970 秒	約 5700 秒
2 GB	約 1350 秒	約 4020 秒	約 4020 秒	約 11700 秒

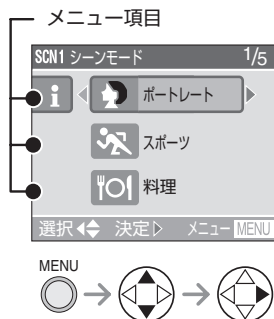
- 撮影可能時間はめやすです。
（撮影条件、SD メモリーカードの種類によって変化します）
- 被写体により撮影時間は変動します。
- 液晶モニターに表示される残り撮影時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。

- 音声なしで動画を記録することはできません。
- オートフォーカス・絞り値は、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- [画質設定] を [30fpsVGA] に設定している場合は、パッケージなどに「10 MB/s」以上の記載がある高速タイプのSDメモリーカードを使用することをおすすめします。
- **カードの種類や撮影回数、画像削除の回数によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。このようなときは、クリーンアップすると改善されることがあります。事前に本機でクリーンアップすることをおすすめします。（P111）**
- **カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。（正規カード以外は使用しないでください）**
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質、音質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 本機で撮影された [30fpsVGA]、[30fps QVGA] または [10fpsVGA] の動画は、それらに対応していない機種では再生できません。
- 動画撮影モード [🎞] 時は、縦位置検出機能とレビューが使えません。
- 手ぶれ補正の [MODE2] は使えません。
- **動画撮影時にフォーカスリングやズームリングを回すと、レンズ鏡筒がこすれる音が入る場合があります。**

シーンモードで撮る

つづく

モードダイヤル設定：SCN1 SCN2

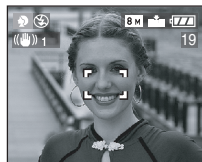
- [MENU] ボタンを押して、シーンモードメニューを表示させてください。セットアップメニューの [シーンメニュー] (P25) を [AUTO] に設定したときは、モードダイヤルを [SCN1] または [SCN2] に合わせると自動的に表示されます。
- ▲/▼ でメニュー項目を選択し、▶ で設定してください。

- ◀ を押すと、各シーンモードの説明が表示されます。(▶ を押すとシーンモードメニューに戻ります)
- フロントダイヤルを回すと、1/5、2/5、3/5、4/5、5/5 とページが切り換わります。
- シーンモードメニューが表示されているときに [MENU] ボタンを押すと、撮影メニュー (P78) とセットアップメニュー (P22) を設定することができます。
- セットアップメニューの [シーンメニュー] (P25) を [OFF] にし、よく使うシーンモードを [SCN1]、[SCN2] のそれぞれのダイヤルに設定しておくこともできます。すばやく選ぶことができ、また操作の手間を最小限にすることができ便利です。

：ポートレートモード (P70)
：スポーツモード (P70)
：料理モード (P70) / ：風景モード (P71)
：夜景ポートレートモード (P71)
：夜景モード (P72) / ：赤ちゃんモード (P72)
：美肌モード(P73)/ ：キャンドルモード(P74)
：パーティーモード(P74)/ ：花火モード(P75)
：雪モード (P75) / ：星空モード (P76)
：流し撮りモード (P77)

- シーンモードでのピント合わせは、フォーカス切換スイッチの位置に関係なく、選択したモードに合わせて自動的に行われます。(フォーカス切換スイッチを [AF MACRO] にしていても AF マクロアイコンは表示されません) シーンによっては近距離でピントが合わないことがあります。撮影状況に合ったシーンモードを選択してください。
- シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。
- 撮影する画像の明るさを変更したいときは、露出を補正してください。(P54) (ただし、星空モードでは露出を補正できません)
- シーンモードでフラッシュを使用する場合は、内蔵フラッシュをお使いください。
- シーンモード時は次の設定ができません。
  - ホワイトバランス (P79)
  - ISO 感度 (P81)
  - カラーエフェクト (P87)
  - 画質調整 (P87)

シーンモードメニュー（メニューの選びかたについては P69 へ）

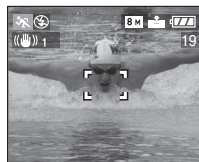
ポートレートモード

背景をぼかし、人物を引き立て、肌の色を健康的に出すように露出と色調を調整します。

■ **撮影のテクニック**

ズームの位置はできるだけ T 側（望遠）にし、被写体までの距離を近くし、遠くにある背景を選ぶとより効果が出ます。

- 昼間の屋外での撮影に適しています。
- ISO 感度は [AUTO] に固定されます。

スポーツモード

屋外のスポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。フォーカス切換スイッチを [AF] にしてください。

■ **撮影のテクニック**

動きを止めて撮影するために、速めのシャッタースピードに設定されます。できるだけ天気の良い昼間に撮影するのが効果的です。

- 5 m以上離れた昼間の屋外で撮影するのに適しています。
- ISO 感度は [AUTO] に固定されます。

料理モード

レストランなどで周囲の光に影響されずに料理を撮りたいときに合わせてください。料理を自然な色調で撮ることができます。

- ISO感度は[AUTO]に固定されます。

つづく

風景モード

広がりのある風景を撮りたいときに合わせてください。遠くにある被写体に優先的にピントを合わせます。フォーカス切換スイッチを [AF] にしてください。

- ピントが合う範囲は 5 m ～∞です。
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- ISO感度は[AUTO]に固定されます。
- AF補助光の設定は無効になります。

夜景ポートレートモード

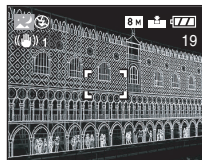
夜景を背景に人物などを撮りたいときに合わせてください。フラッシュを使い、シャッタースピードを遅くすることにより、人物とともに背景も見た目に近い明るさになります。

■ 撮影のテクニック
- **フラッシュをお使いください。**
- シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使用し、セルフタイマー（P53）を使って撮影することをおすすめします。
- 被写体の人に、撮影後約 1 秒間は動かないように伝えてください。
- ズームを W 端（広角）にして、被写体から約 1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。

- ピントが合う範囲は 1.2 m ～ 5 m です。（フラッシュの調光範囲については 50 ページをお読みください）
- 使わないときは、必ずフラッシュを閉じておいてください。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約 1 秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- フラッシュ設定時は、赤目軽減スローシンクロ [ ] に固定され、常に発光します
- ISO感度は[AUTO]に固定されます。
- AF 連続動作の設定は無効になります。

撮る・応用

夜景モード

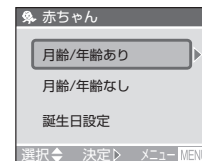
夜景を撮りたいときに合わせてください。シャッタースピードを遅くすることにより、夜景が鮮やかになります。フォーカス切換スイッチを [AF] にしてください。

■ 撮影のテクニック

- シャッタースピードは最大約 8 秒になるので、三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。（P53）

- ピントが合う範囲は5 m ～∞です。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約 8 秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- ISO 感度は [ISO80] に固定されます。
- AF補助光とAF連続動作の設定は無効になります。

赤ちゃんモード

赤ちゃんを撮りたいときに合わせてください。赤ちゃんの肌の色を健康的に出すように露出と色調を調整します。フラッシュ使用時には、フラッシュの光が通常より弱めに発光します。

- 再生時に赤ちゃんの月齢/年齢を表示できます。
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って月齢/年齢をプリントすることができます。（プリントについては、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください）

月齢/年齢表示設定

- 月齢/年齢を表示したい場合は、あらかじめ誕生日を設定しておき、[月齢/年齢あり] を選び、▶ を押す。
- 月齢/年齢を表示しない場合は、[月齢/年齢なし] を選び、▶ を押す。

誕生日設定

❶ [誕生日設定] を選び、▶ を押す。
❷「赤ちゃんの誕生日を設定してください」とメッセージが表示されるので、◀/▶ で項目（年月日）を選び、▲/▼ で設定する。
❸ [MENU] ボタンを押して終了する。

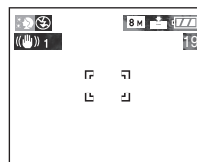
- 誕生日設定をしていないときに [月齢/年齢あり] を選んだ場合は、メッセージが表示されます。[MENU] ボタンを押して上記❷～❸の手順で誕生日設定をしてください。

つづく

- ISO 感度は [AUTO] に固定されます。
- 赤ちゃんモードで起動時や他シーンモードから赤ちゃんモードへ切り替え後に約５秒間、月齢/年齢が現在日時とともに画面の下に表示されます。
- 月齢/年齢の表示は、撮影時の言語設定によって異なります。
  - 日本語に設定しているとき
    0 ～ 11ヵ月（1 歳未満）:
    2ヵ月 5 日※
    12ヵ月（1 歳）以上：
    2 歳 5ヵ月※
  - 英語に設定しているとき
    0 ～ 23ヵ月（2 歳未満）:
    2 months 5 days ※
    24ヵ月（2 歳）以上：
    2 years 5 months ※

  ※数字は例です。
- 生まれた日は 0 ヵ月 0 日と表示されます。
- 月齢/年齢が正しく表示されないときは、時計設定または誕生日設定を確認してください。
- ［月齢/年齢なし］に設定していると、時計設定、誕生日設定をしていても月齢/年齢は記録されません。撮影後に［月齢/年齢あり］に設定しても表示されません。
- 誕生日設定をリセットする場合は、セットアップメニューの [設定リセット] を行ってください。(P25)

美肌モード

顔などの肌色部分を検知して、肌の表面を特になめらかに表現した写真を撮ることができます。人物の胸から上を大きく撮りたいときなどに合わせてください。

■ 撮影のテクニック

ズームの位置はできるだけ T 側（望遠）にし、被写体までの距離を近くし、遠くにある背景を選ぶとより効果が出ます。

- 昼間の屋外での撮影に適しています。
- ISO 感度は [ISO80] に固定されます。
- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時になめらかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果が分かりにくい場合があります。

撮る・応用

キャンドルモード

ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮りたいときに合わせてください。

■ 撮影のテクニック

- ろうそくの光を生かして、フラッシュを使わずに使用すると効果的です。
- 三脚を使用し、セルフタイマー（P53）を使って撮影することをおすすめします。

- フラッシュは、赤目軽減スローシンクロ[⚡S◎]または赤目軽減強制発光 [⚡◎] に設定できます。
- ISO 感度は [AUTO] に固定されます。

パーティーモード

結婚式や室内でのパーティーなどで、その場の雰囲気を生かして撮影したいときに合わせてください。フラッシュを使い、シャッタースピードを遅くすることにより、人物とともに背景も見た目に近い明るさになります。

■ 撮影のテクニック

- **フラッシュを開いてください。（P49）**
- シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使用し、セルフタイマー（P53）を使って撮影することをおすすめします。
- ズームを W 端（広角）にして、被写体から約 1.5 m ほど離れたところから撮影することをおすすめします。

- フラッシュは、赤目軽減スローシンクロ[⚡S◎]または赤目軽減強制発光 [⚡◎] に設定できます。
- ISO 感度は [AUTO] に固定されます。

つづく

花火モード

夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮りたいときに合わせてください。打ち上げ花火を撮影するために、シャッタースピードや露出を自動的に調整します。

■ **撮影のテクニック**

打ち上げ花火のシャッターチャンスを逃さないために、次の手順で置きピン撮影することをおすすめします。

❶ フォーカス切換スイッチを［MF］にする（P46）
❷ 花火が上がるのと同じくらいの距離にある、遠くの明かりなどにカメラを向ける
❸ フォーカス表示（P37）が点灯するまで、[FOCUS] ボタンを押す
❹ 花火が打ち上げられる方向に本機を向けて待機する
❺ 花火が打ち上げられたら、シャッターボタンを全押しして撮影する

- ズーム操作をした場合は、フォーカス位置がずれるので、❷～❺の操作をやり直してください。
- 三脚を使うことをおすすめします。

- AF時のピントが合う範囲は5 m～∞です。（上記の❶～❺の手順で置きピン撮影することをおすすめします）
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- ISO 感度は [AUTO] に固定されます。
- AF補助光とAF連続動作の設定は無効になります。

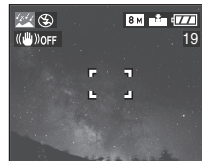
雪モード

スキー場や雪山など、雪のある場所で撮りたいときに合わせてください。白い雪を白く出すように、露出とホワイトバランスを調整します。

- ISO感度は[AUTO]に固定されます。

撮る・応用

星空モード

夜景モードでも撮影できないような星空や暗い被写体をきれいに撮りたいときに合わせてください。シャッタースピードをより遅くすることにより、夜空の星を鮮明に撮影することができます。シャッタースピードは 15 秒、30 秒、60 秒から選択します。

シャッタースピード設定

▲/▼ で秒数を選び、▶ を押す。

- シャッターボタンを押すとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。
- 撮影中に [MENU] ボタンを押すと、撮影が中止されます。

■ 撮影のテクニック

- 15 秒、30 秒、60 秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマー（P53）を使って撮影することをおすすめします。

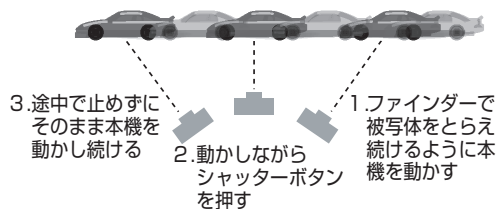
- 手ぶれ補正は [OFF] に固定されます。
- AF 連続動作の設定は無効になります。
- フラッシュ発光禁止 [⊘] に固定されます。
- ISO感度は [ISO80] に固定されます。
- 露出補正、オートブラケット撮影、連写、音声記録はできません。
- ヒストグラムは、常にオレンジ色で表示されます。（P30）

流し撮りモード

ランナーや車のように、一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて本機を振りながら撮影すると、被写体の背景が流れて写ります。この効果を「流し撮り」といいます。このモードに合わせると、流し撮りの効果を得やすくなります。

■ 流し撮りのテクニック

流し撮りを成功させる（被写体に追いついたり、ぶれを防ぐ）には、テクニックが必要です。

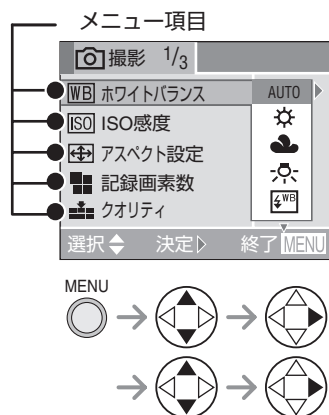
- 本機だけで追わずに、体を正面に向け、脇をしめ、腰をひねりながら体全体を使って被写体を追いかけてください。
- 被写体が正面に来たときに、シャッターボタンを押してください。シャッターボタンを押すときにも本機の振りを止めないようにしてください。

- 以下のことにもお気を付けください。
  - ファインダーを使う（P26）
  - 動きの速い被写体を選ぶ
  - 置きピン（P47）を使う
  - 連写（P57）と合わせて撮影する
    （あとでよい画像を選択）

- 流し撮りモードは、背景を流れやすくするため、シャッタースピードが遅くなります。このため、手ぶれが起こりやすくなります。
- 以下のような場合、流し撮りがうまくいきません。
  - 夏の日中など、明るいところ
    [ND フィルター（別売：DMW-LND55）を使うことをおすすめします（P124）]
  - シャッタースピードが 1/100 より速い場合
  - 被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合（背景が流れません）
  - 本機が被写体にうまく追いつけていない場合
- 手ぶれ補正は [MODE2] に設定できません。[MODE1] 選択時は、流し撮りモードでは、縦方向のみ手ぶれが補正されます。
- ISO 感度は [ISO80] に固定されます。
- AF 補助光と AF 連続動作の設定は無効になります。

撮影メニューを使う

モードダイヤル設定：P A S M [動画] SCN1 SCN2

色合いや画質調整などを設定すると、撮影のバリエーションが広がります。

- モードダイヤルを撮影するモードに合わせてください。

- フロントダイヤルを回すと、1/3、2/3、3/3 とページが切り換わります。
- 外部フラッシュ装着時は、ページが 1/4、2/4、3/4、4/4 と切り換わります。
- 設定終了後、シャッターボタンを半押しまたは [MENU] ボタンを押して、メニューを終了してください。

WB：ホワイトバランス（P79）
ISO：ISO 感度（P81）
：アスペクト設定（P81）
：記録画素数（P82）
：クオリティ（P83）
：音声記録（P83）
：測光モード（P84）
AF：AF モード（P84）
C-AF：AF 連続動作（P86）
AF✳：AF 補助光（P86）
：デジタルズーム（P87）
：カラーエフェクト（P87）
：画質調整（P87）
：コマ撮りアニメ（P88）
：コンバージョン（P91）
：外部フラッシュ（P93）（外部フラッシュ装着時表示）
：外部フラッシュ連写（P95）（外部フラッシュ装着時表示）

つづく

WB ホワイトバランス

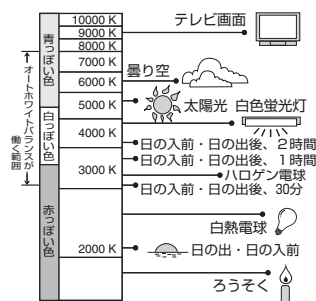
モードダイヤル設定：P A S M

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、見た目に近い白色に調整します。

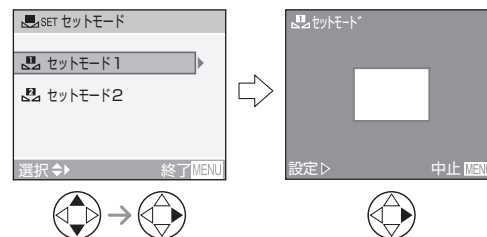
項目	撮影状況
AUTO（オート）	自動で設定するとき
（晴天）	屋外晴天下で撮影するとき
（曇り）	屋外曇天下で撮影するとき
（白熱灯）	白熱灯下で撮影するとき
（フラッシュ）	フラッシュの光のみで撮影するとき
（セットモード1）	あらかじめセットしている設定を使用するとき
（セットモード2）	
SET（セットモード）	新しくホワイトバランスを設定するとき

● [AUTO] 以外に設定すると、ホワイトバランスを微調整することができます。

■ オートホワイトバランスについて

オートホワイトバランスが働く範囲は、図のとおりです。範囲外での撮影では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを [AUTO] 以外に設定して調整してください。

■ セットモードについて（SET）

手動でホワイトバランスを設定したいときに使用します。

SET（セットモード）に設定し、[セットモード 1] または [セットモード 2] を選択して ▶ を押してください。白い紙などに本機を向けて、画面の中央の枠内に白いものだけが写るようにし、▶ を押してください。

■ ホワイトバランス微調整(WB±)について

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

- ホワイトバランスを ☼ / ☁ / ☀ / ⚡WB / 1 / 2 に設定してください。(P79)

▲(☒)ボタンを数回押し、[WB± WB 微調整] を表示させ、ホワイトバランスを調整する

▶:青(赤みが強い場合)
◀:赤(青みが強い場合)

ホワイトバランスについて

- オートモード [A] 時は、[AUTO] に固定されます。
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されます [☼(晴天)、⚡WB(フラッシュ)を除く] が、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。

ホワイトバランス微調整について

- ホワイトバランスを微調整すると、液晶モニター / ファインダーに表示されるホワイトバランスアイコンが赤、または青に変わります。
- ホワイトバランスの各モードで独立して微調整することができます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- セットモード [SET] で新しくホワイトバランスを設定し直したときは、微調整レベルは "0" に戻ります。
- カラーエフェクト設定(P87)を [クール]、[ウォーム]、[白黒]、[セピア] のいずれかに設定しているときは、ホワイトバランスの微調整はできません。

つづく

ISO ISO 感度

モードダイヤル設定：P A S M

ISO 感度とは、光に対する敏感さを数値で表したもので、数値が高くなるほど、暗い場所での撮影に適しています。

- [AUTO] を選ぶと､明るさに応じて ISO 感度を [ISO80] ～ [ISO200] まで自動的に高くしていきます。(フラッシュ使用時は [ISO80] ～ [ISO400])

ISO 感度	80	400
屋外など明るい場所での撮影	適している	適していない
暗い場所での撮影	適していない	適している
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

- オートモード [A]、動画撮影モード [ ]、シーンモード (P69) 時は [AUTO] に固定されます。[シーンモードの夜景 (P72)、美肌 (P73)、星空 (P76)、流し撮り (P77) は [ISO80] に固定されます]
- 絞り優先 AE、シャッター優先 AE、マニュアル露出時は [AUTO] の選択はできません。
- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、[画質調整] の [ノイズリダクション] を [高] または、[ノイズリダクション] 以外の各項目を [低] にして撮影することをおすすめします。(P87)
- シャッタースピードについては、66 ページをお読みください。

アスペクト設定

モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2 A

アスペクトとは、画像の縦横比のことです。
3 種類のアスペクトの中から、目的に合わせて選ぶことができます。

項目	効果
4:3	通常比率です。
3:2	やや横長の画像になります。35 mm フィルムと同じ 3:2 の縦横比で撮れます。
16:9	横長の画像になります。風景など被写体のワイド感を表現したいときや､ワイドテレビ､ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適しています。

- 撮影した画像は、プリント時に端が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。(P145)

記録画素数

モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2 A

大きい記録画素数 [8M]（8M）を選ぶと、より鮮明にプリントすることができます。
小さい記録画素数 [1M]（1M EZ）を選ぶと、データ容量が小さいのでより多くの画像が記録できます。E メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときは、リサイズ（P107）を行ってください。

■ アスペクト設定が [4:3] のとき

項目	記録画素数
8M (8M)	3264×2448 画素
5M (5M EZ)	2560×1920 画素
3M (3M EZ)	2048×1536 画素
2M (2M EZ)	1600×1200 画素
1M (1M EZ)	1280×960 画素

■ アスペクト設定が [3:2] のとき

項目	記録画素数
7M (7M)	3248×2160 画素
4.5M (4.5M EZ)	2560×1712 画素
2.5M (2.5M EZ)	2048×1360 画素

■ アスペクト設定が [16:9] のとき

項目	記録画素数
5.5M (5.5M)	3072×1728 画素
2M (2M EZ)	1920×1080 画素

- EZ とは「Extra Optical Zoom」の略で、拡張光学ズームを表します。EZ の付いた記録画素数が選択されているときは、ズーム倍率が最大 19.1 倍（デジタルズーム [OFF] 設定時）まで拡張されます。（P35）
- 動画撮影モード [] 時は、640×480 画素（VGA）または、320×240 画素（QVGA）になります。
- コマ撮りアニメ作成時は、320×240 画素に固定されます。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- 被写体により記録枚数は変動します。
- 液晶モニター/ファインダーに表示される残り枚数は、撮影された枚数分、減少しない場合があります。
- 記録枚数については、31 ～ 33 ページをお読みください。

つづく

クオリティ

モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2 A

4 種類のクオリティ（圧縮率）の中から、目的に合わせて選ぶことができます。

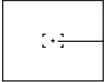
- TIFF：TIFF（非圧縮）
  レタッチソフトなどで画像を編集・加工するときに最適です。
- ：ファイン（低圧縮）
  画質を優先し、高画質に記録します。
- ：スタンダード（高圧縮）
  撮影枚数を優先し、画質は標準で記録します。
- RAW：RAW
  パソコンで画像を加工するときに設定します。

- [RAW] に設定しているときは、デジタルズームは使用できません。
- [TIFF] に設定すると、スタンダード相当の JPEG 画像が同時に作られます。
- [RAW] に設定すると、各アスペクト設定の最大記録画素数（[8M][7M][5.5M]）に固定され、スタンダード相当の JPEG 画像が同時に作られます。本機で RAW ファイルを削除すると、JPEG 画像も同時に削除されます。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- 被写体により記録枚数は変動します。
- 液晶モニター/ファインダーに表示される残り枚数は、撮影された枚数分、減少しない場合があります。
- クオリティを [TIFF] または [RAW] に設定しているときは、以下の機能は使えません。
  - アフレコ
  - 連写
  - リサイズ
  - トリミング
  - 音声記録
  - オートブラケット
- 記録枚数については、31 ～33 ページをお読みください。
- ＲAW ファイルは、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」や、アークソフト社の「PhotoImpression」で現像して、汎用性の高い JPEG 形式の画像で保存することができます。
- さらに応用の加工をする場合には、DMC-FZ30 の RAW ファイルに対応した市販のソフトウェアがご使用になれます。
- 各社のソフトウェアの DMC-FZ30 の RAW ファイルへの対応状況については、各社ホームページでご確認ください。
  - アドビ社（Photoshop CS など）
    http://www.adobe.co.jp
  - 市川ソフトラボラトリー（SILKYPIX Website）
    http://www.silkypix.com

音声記録

モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2

音声付きの静止画を撮影します。

- [ON] に設定すると [] が画面に表示されます。
- ピントを合わせてシャッターボタンを押すと、撮影開始から約 5 秒後、録音が自動的に終了します。シャッターボタンを押したままにする必要はありません。
- 音声は本機の内蔵マイクより録音されます。
- 録音中に [MENU] ボタンを押すと解除されます。音声は記録されません。
- オートブラケット、連写、クオリティを [TIFF] または [RAW] に設定したときや、シーンモードの星空モード（P76）では、音声付き静止画を撮ることができません。
- **フォーカスリングやズームリングを回すと、レンズ鏡筒がこすれる音が入る場合があります。**

撮影メニュー設定

撮影メニュー（設定方法については P78 へ）

測光モード

モードダイヤル設定：P A S M

以下の測光方式に切り換えることができます。

測光方式	設定内容
評価測光	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをおすすめします。
中央重点測光	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
スポット測光	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。 スポット測光ターゲット

AF モード

モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2

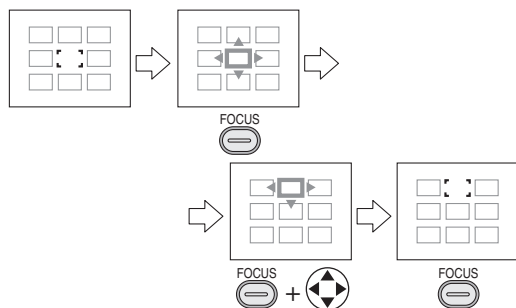
項目	効果
（9 点）	9 点いずれかでピントを合わせます。被写体の位置を限定することなく、自由な構図で撮影できます。
（3 点高速）	左、中央、右の 3 点いずれかでピントを合わせます。
（1 点高速）	AF エリア内にピントを合わせます。
（1 点）	AF エリア内にピントを合わせます。
（スポット）	限られた狭い範囲内にピントを合わせることができます。

つづく

■ 高速 AF(H)モードについて

● ３点高速または１点高速を選択時は、AF が高速で駆動され、より早くピントを合わせることができます。
● シャッターボタンを半押しすると、ピントが合う前の状態で画像が一瞬静止することがありますが、故障ではありません。AF 中に画像を静止させたくない場合は、１点高速、３点高速以外の AF モードをお使いください。

■ AF エリア選択

１点または１点高速を選択時に、下図のように AF エリアを選択することができます。スポット測光のときは、測光ターゲットも AF エリアに合わせて移動します。

❶ フォーカス切換スイッチを [AF] または [AF MACRO] にする
❷ [FOCUS] ボタンを押す
❸ [FOCUS] ボタンを押しながら、▲/▼/◀/▶ で AF エリアを移動する
❹ [FOCUS] ボタンを離して決定する

● 以下の操作を行うと、元の ＡＦ エリア位置に戻ります。
  ● モードダイヤルをオートモード [A] にしたとき
  ● 電源を [OFF] にしたとき

● デジタルズーム時または暗い場所での撮影時は、通常よりも大きな中央１点の AF エリアが表示されます。

● AF エリアが複数（最大９個）点灯した場合は、点灯したすべての AF エリアにピントが合っています。
カメラが自動的に判断した位置にピントが合うので、ピントが合う位置は決まっていません。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を１点またはスポットに切り換えてください。

C-AF AF 連続動作

モードダイヤル設定：P A S M 動画 SCN1 SCN2

常時ピント合わせを行うので、構図が決めやすくなります。AF モードが 1 点、1 点高速、スポットのときは、シャッターボタンを半押ししたときのピントが合うまでの時間が短くなります。

- [ON] に設定すると、[C-AF] が画面に表示されます。

メモ

- バッテリーの消耗は早くなります。
- ズームリングを W 端から T 端に回したり、急に被写体を遠くから近くに変えたあとは、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- オートモード [A] では、[OFF] に固定されます。

AF✳ AF 補助光

モードダイヤル設定：P A S M 動画 SCN1 SCN2

撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくする機能です。暗い場所などでシャッターボタンを半押しすると、通常よりも大きな AF エリアが表示され、AF 補助光ランプが光ります。

- [ON]に設定すると、撮影場所が暗いときにAF補助光ランプが光ります。このとき、液晶モニターに AF 補助光アイコン[AF✳]が表示されます。補助光の有効距離は 1.5 m です。
- [OFF] に設定すると AF 補助光ランプは光りません。

メモ

- AF 補助光使用時は以下の点にお気を付けください。
  - 近くで発光部を見ないでください。
  - レンズフードは外してください。
  - AF 補助光ランプを指でふさがないでください。
  - バッテリーの消耗は早くなります。
- オートモード [A] では、[ON] に固定されます。
- シーンモードの風景 (P71)、夜景 (P72)、花火 (P75)、流し撮り (P77) では AF 補助光は [OFF] に固定されます。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF] に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- AF 補助光点灯時は、AF エリアは中央 1 点のみとなります。(P84)
- レンズ部により、AF 補助光の外周の一部がケラレる場合がありますが、性能上に問題はありません。

つづく

デジタルズーム

モードダイヤル設定：P A S M 動画 SCN1 SCN2

撮影メニュー（P78）で [デジタルズーム] を [2×] または [4×] に設定すると、最大 48 倍まで拡大が可能になります。（ただし、拡張光学ズーム時は除く）
詳しくは、34 ページをお読みください。

カラーエフェクト

モードダイヤル設定：P A S M 動画

4 種類の色彩効果が得られます。撮影イメージに合わせて使い分けてください。

項目	効果
クール	青っぽい画像になります。
ウォーム	赤っぽい画像になります。
白黒	白黒画像になります。
セピア	セピア色の画像になります。

画質調整

モードダイヤル設定：P A S M

撮影状況、撮影イメージに合わせて使い分けてください。

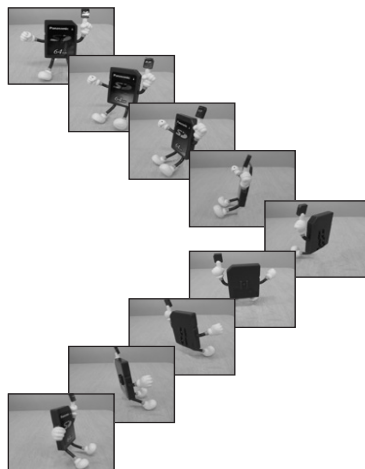
項目		効果
コントラスト	高	画像の明暗差を大きくします。
	低	画像の明暗差を小さくします。
シャープネス	高	画像の輪郭を強調します。
	低	画像の輪郭を柔らかくします。
彩度	高	派手で鮮やかな色になります。
	低	落ち着いた色になります。
ノイズリダクション	高	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感がわずかに低下する場合があります。
	低	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。

● 暗い場面で撮影するとき、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[ノイズリダクション] を [高] にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目を [低] にして撮影することをおすすめします。

撮影メニュー設定

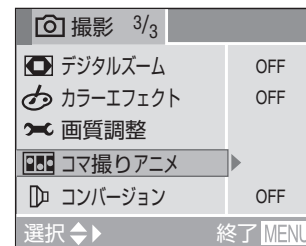
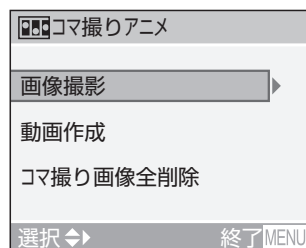
コマ撮りアニメ

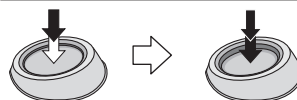
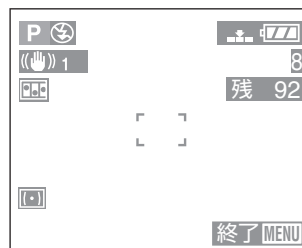
モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2

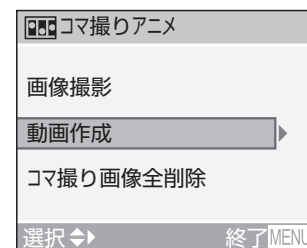
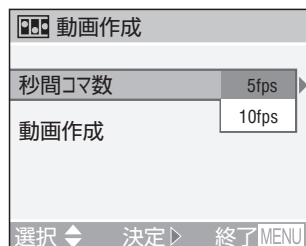
本機では、コマ撮りした画像をつなぎ合わせて、最長約 20 秒の動画ファイルを作成することができます。
たとえば…
人形などを少しずつ動かすごとに撮影して

つなぎ合わせると動いているように見えます。

- 作成したコマ撮りアニメを再生する方法は、動画を再生するときと同じです。（P96）

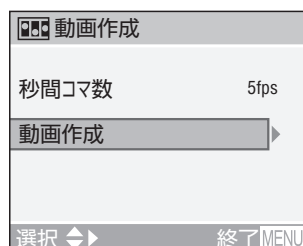
[コマ撮りアニメ] を選ぶ

つづく

[画像撮影] を選ぶ

- 記録画素数は320×240画素になります。

ひとコマずつ撮影する

- ▼ を押すと、撮影した画像を確認できます。◀/▶ を押すと、前後の画像を確認することができます。
- 不要な画像は[🗑]ボタンで削除してください。
- 最大100枚まで撮影できます。表示される残量枚数はめやすです。

[動画作成] を選ぶ

[秒間コマ数]を選び､設定する

- 5 fps　：5 コマ / 秒
- 10 fps：10 コマ / 秒
  （よりなめらかな動画になります）

[動画作成] を選び、コマ撮りアニメを作成する

- 動画作成をすると、ファイル番号が表示されます。
- 作成終了後､[MENU] ボタンを３回押してメニューを終了します。

■ コマ撮りアニメ用静止画像をすべて削除する

[コマ撮りアニメ]のメニューから[コマ撮り画像全削除] を選択すると、確認画面が表示されます。▼ ボタンで[はい] を選び、▶ ボタンを押してください。

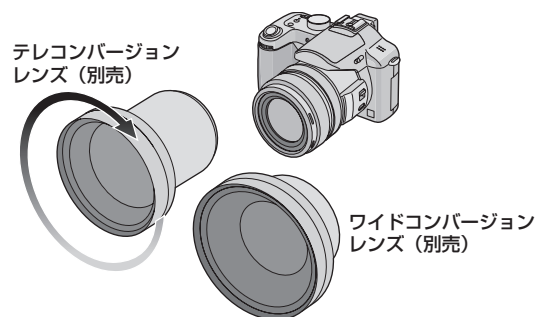
- 縦位置検出機能、音声付き静止画、連写、オートブラケットは使えません。
- 各コマの画像は通常のレビュー（P44）では表示されません。
- [動画作成] を実行すると､コマ撮りアニメ用に撮影されたすべての画像が 1 つのアニメになります。不要な画像は、削除しておいてください。
- 音声は記録されません。
- アフレコ機能（P106）で音声を記録することはできません。
- 他機では再生できない場合があります。また、他機で再生したとき、ミュート機能のない機種ではノイズが出る場合があります。

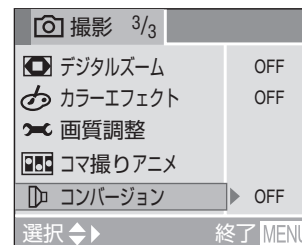
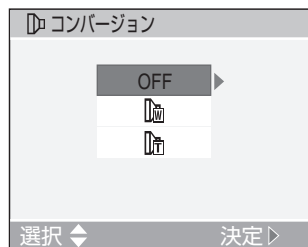
つづく

コンバージョン

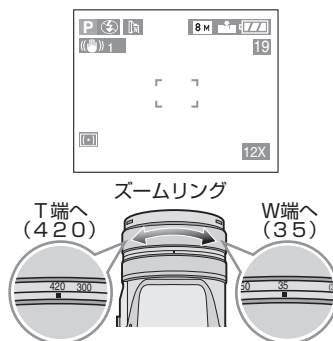
モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2 A

テレコンバージョンレンズ（別売：DMW-LT55）を使用するとより望遠に（1.7 倍）、ワイドコンバージョンレンズ（別売：DMW-LW55）を使用するとより広角に（0.7 倍）に撮ることができます。

1

レンズキャップを外し、取り付ける

- コンバージョンレンズとMCプロテクター(別売:DMW-LMC55)や ND フィルター（別売：DMW-LND55）を併用することはできません。必ず取り外してからコンバージョンレンズを取り付けてください。
- ゆっくりていねいに回してください。

本機の電源を [ON] にし、[コンバージョン] を選ぶ

[ ] または [ ] に設定する

OFF：コンバージョンレンズを装着しないとき
：ワイドコンバージョンレンズを装着するとき
：テレコンバージョンレンズを装着するとき

- 設定終了後、シャッターボタンを半押しまたは［MENU］ボタンを押して、メニューを終了します。

T端またはW端に合わせる

- テレコンバージョンレンズ使用時は必ずT端、ワイドコンバージョンレンズ使用時は必ずW端に合わせてください。
- コンバージョンアイコン（ または ）が、点滅（赤）から点灯（白）に変わります。
- コンバージョンレンズ使用時は、必ずコンバージョンアイコンが白く点灯している状態で撮影してください。点滅しているときに撮影すると、正しく撮影できません。

■ コンバージョンレンズ使用時の撮影可能範囲

	表示	実際の倍率	35ミリ換算
テレコンバージョンレンズ	12×	20.4×※	714 mm
ワイドコンバージョンレンズ	1×	0.7×	24.5 mm

※デジタルズーム（P34）、拡張光学ズーム（P35）使用時の実際の倍率は、T端での表示の1.7倍になります。

- ピントが合う範囲は、14 cm ～∞（ワイドコンバージョンレンズ使用時）、5.5 m ～∞（テレコンバージョンレンズ使用時）です。

- ワイドコンバージョンレンズ設定時は、デジタルズームは使用できません。
- レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）が付いた場合、画像に影響をおよぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。

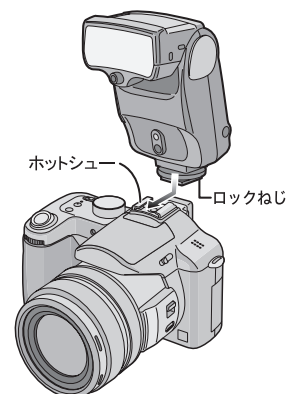
撮影メニュー（設定方法については P78 へ）

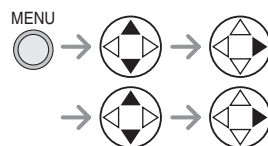
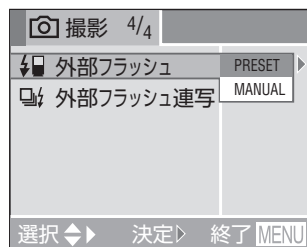
つづく

- コンバージョンレンズを使用しないときは、[コンバージョン] を必ず [OFF] に設定してください。
- コンバージョンレンズ使用時は
  - 内蔵フラッシュは使用できません。
  - [コンバージョン] を [OFF] に設定してコンバージョンレンズを使用すると、本来の性能が発揮されません。
- テレコンバージョンレンズ使用時は
  - 三脚の使用をおすすめします。
  - 手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
  - 手ぶれの影響により、ピントが合っていないのにフォーカス表示が点灯することがあります。
  - ピントが合うまでの時間が通常よりも長くなることがあります。
- コンバージョンレンズ使用時に外部フラッシュを使用する場合は、外部フラッシュ側をマニュアルモードに設定することをおすすめします。詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。
- [コンバージョン]を[ ]または[ ]に設定しているときは、AF 補助光は使えません。（P86）
- 詳しくは、コンバージョンレンズの説明書をお読みください。

外部フラッシュ

モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2 A

外部フラッシュ（別売：PE-28S/PE-36S）を付けると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

ホットシューに外部フラッシュを取り付け、本機と外部フラッシュの電源を [ON] にする

- 外部フラッシュにロックねじがある場合は、確実に締め込んでください。

[PRESET] または [MANUAL] を選ぶ

- 設定終了後、シャッターボタンを半押しまたは [MENU] ボタンを押して、メニューを終了します。

■ 外部フラッシュの発光禁止設定

項目	設定内容
または	外部フラッシュ発光
または	外部フラッシュ発光禁止

 を押して設定を切り換える

■ 外部フラッシュの設定について

PRESET

- 撮影モードに関係なく本機の絞り値は [F4]、ISO 感度は [ISO100] に設定されます。外部フラッシュを [AUTO] にして、絞り値を [F4]、ISO 感度を [ISO100] に設定してください。
- 通常は [PRESET] に設定することをおすすめします。

MANUAL

- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値、シャッタースピードや ISO 感度を設定できます。
- 本機を絞り優先AEまたはマニュアル露出にして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。（シャッター優先 AE およびプログラム AE では絞り値が変化するので、外部フラッシュの調光が適切に働きません）

- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものがあります。
  このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
  必ず、当社製の外部フラッシュ（別売：PE-28S/PE-36S）をお使いください。
- PE-36S の使用可能範囲は約 13 m、PE-28S は約 10 m までです。（[ISO100] 設定時）
- 外部フラッシュ [PRESET] 時のシャッタースピードは、通常時は 1/30 ～ 1/250、シーンモードの夜景ポートレート（P71）のときは 1 ～ 1/250 になります。
- **外部フラッシュの電源が [OFF] でも、装着すると外部フラッシュモードになるものがあります。外部フラッシュを使用しないときは、外部フラッシュを外すか、外部フラッシュを発光禁止にしてください。**
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュは使えません。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- 外部フラッシュ装着時は、置いたときに不安定になります。
- 持ち運びするときは、外部フラッシュを取り外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落の恐れがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 外部フラッシュ使用時にホワイトバランスを「（フラッシュ）」に設定した場合、撮影結果によってはホワイトバランスを微調整してください。（P80）
- 広角時に近くで撮影すると、画面の下部がケラレる場合があります。
- 詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。

外部フラッシュ連写

モードダイヤル設定：P A S M SCN1 SCN2 A

外部フラッシュ装着時に、連写にして撮影することができます。

- 「外部フラッシュ連写」を「ON」に設定してください。
- 単写/連写切換ボタンを押し、連写設定を切り換えてください。
- シャッターボタンを押し続けると最大３枚まで撮影されます。

■ 連写枚数

	H（高速）	L（低速）	∞（フリー）
連写速度	３コマ / 秒	２コマ / 秒	約２コマ / 秒
連写枚数	最大３枚		

- 外部フラッシュまたは撮影状況によっては、連写できないか、連写すると二枚目以降、光量が不足する場合があります。

撮影メニュー設定

音声付き静止画 / 動画を再生する

モードダイヤル設定：[▶]

■ 音声付き静止画

音声アイコン [♪] が付いた画像を選び、音声を再生する

■ 動画

動画アイコン [30fps VGA]/[10fps VGA]/[30fps QVGA]/[10fps QVGA] が付いた画像を選び、動画を再生する

- 再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。
- もう一度 ▼ を押すと停止し、通常の再生画面に戻ります。

早送り / 早戻しする

動画再生中に ◀/▶ を押したままにする
▶：早送り　　◀：早戻し

- ボタンを離すと、通常の動画再生に戻ります。

一時停止する

動画再生中に ▲ を押す

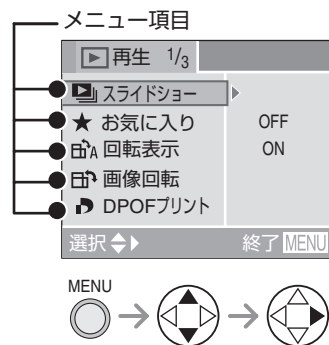
- もう一度 ▲ を押すと一時停止が解除されます。

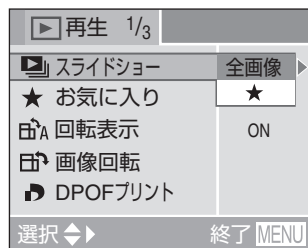
- スピーカーから音声が聞こえます。音量調整については、セットアップメニューの [スピーカー音量]（P24）をお読みください。
- 音声付き静止画、動画はリサイズ(P107)、トリミング（P108）できません。
- 動画再生中や一時停止中、ズームはできません。
- 本機で再生できるファイル形式は QuickTime Motion JPEG です。
- パソコンや他機で記録された QuickTime Motion JPEGファイルは本機で再生できない場合があります。
- 他機で撮影された動画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合は CD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」をご使用ください。

再生メニューを使う

つづく

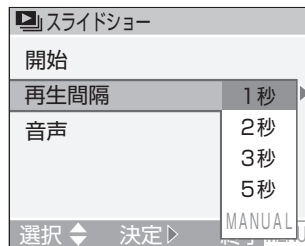
モードダイヤル設定：▶

撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

- フロントダイヤルを回すと、1/3、2/3、3/3 とページが切り換わります。
- 上図の操作でメニューを選んだあと、各メニューの設定を行ってください。

：スライドショー（P98）
：お気に入り（P99）
：回転表示（P100）
：画像回転（P101）
：DPOF プリント（P102）
：プロテクト（P104）
：アフレコ（P106）
：リサイズ（P107）
：トリミング（P108）
：アスペクト変換（P109）
：クリーンアップ（P111）
：フォーマット（P112）

スライドショー

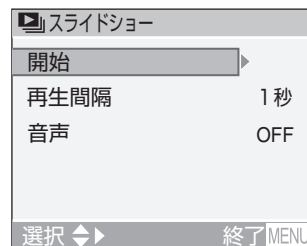
[全画像] または [★] を選ぶ

全画像：すべての画像を表示します。
★：　お気に入り設定した画像（P99）のみ表示します。

- [お気に入り]を[ON]に設定しているときに表示されます。[お気に入り] を [OFF] に設定しているときは、②の操作をしてください。
- [お気に入り] を [ON] に設定していても、[★] の付いた画像が 1 枚もない場合は、[★] を選択できません。

スライドショーの設定をする

（[全画像] 選択時の画面）

再生間隔：1、2、3、5 秒、MANUAL（マニュアル）（手動再生）の中から設定できます。
音声：　[ON] に設定すると、音声付き静止画の音声が再生されます。

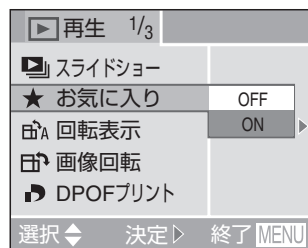
- [MANUAL]は、①で[★]を選んだときのみ選択できます。

[開始] を選び、決定する

（[全画像] 選択時の画面）

- [MANUAL] を選んだ場合は、◀/▶を押すと前後の画像を表示できます。
- [MENU]ボタンを押すと終了します。

- スライドショーで動画再生はできません。
- [音声] を [ON] にして音声付き静止画を再生するときは、音声再生終了後、次の画像が表示されます。

★ お気に入り

お気に入りの画像にマークを付けることができます。お気に入り画像として設定しておくと、お気に入りに設定した画像以外を削除したり（[★以外全削除]）（P61）、お気に入りに設定した画像だけをスライドショー（P98）することができます。お店にプリントを依頼するときに、[★以外全削除] の機能を利用すると、プリントに出したい画像だけをカードに残しておけるので便利です。

[ON] に設定する

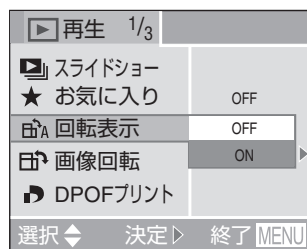
- [OFF]に設定するとお気に入り設定できません。また、すでにお気に入り設定をしている場合は、設定が無効になります。
- [MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

画像を選び、設定する

- この手順を繰り返します。
- お気に入り表示 [★] が表示されているときに ▲ を押すと、[★] が消え、お気に入り設定が解除されます。
- お気に入り設定は 999 枚まで設定できます。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って、お気に入りの画像の設定や確認、解除をすることができます。（詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください）
- 他機で撮影された画像では、お気に入り設定ができない場合があります。

回転表示

本機を縦に構えて撮影した画像や、画像回転で回転させた画像を回転して表示させることができます。

[ON] に設定する

- [OFF] に設定すると画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については 58 ページをお読みください。

- 本機を縦に構えて撮影する場合は、「上手に撮影するには」（P28）をよくお読みください。
- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影した画像では、縦位置検出機能（P28）が正しく機能しない場合があります。
- 回転された画像をマルチ再生で再生した場合は、回転表示されません。
- 縦に構えて撮影しない場合でも、[画像回転]（P101）をすることで回転して表示できます。
- 本機をテレビに接続し、画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。（付属の AV ケーブルを使用する場合）

つづく

画像回転

撮影した画像を 90°ごとに回転して表示させることができます。

画像を選び決定する

- 動画撮影モード [ ] で撮影された画像、プロテクトされた画像は回転できません。

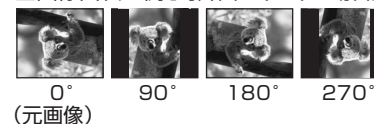
回転方向を設定する

↷ :時計回りに 90°ごとに回転します。

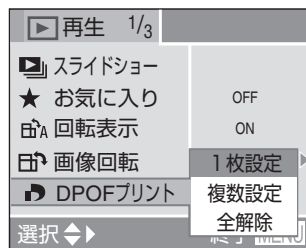
↶ :反時計回りに 90°ごとに回転します。

- 設定終了後、[MENU] ボタンを２回押してメニューを終了します。

■画像回転の例 [時計回り（↷）の場合]

0°（元画像） 90° 180° 270°

- パソコンで再生するとき、Exif に対応した OS またはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exif とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです]
- [回転表示] が [OFF] になっていると、画像回転できません。
- 本機を縦に構えて撮影したときは、縦（回転されて）で表示されます。
- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。

DPOF（ディーポフ）プリント

DPOF（ディーポフ）プリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。

[1 枚設定]、[複数設定]、[全解除] から選ぶ

■ 1 枚設定

画像を選び、プリント枚数を設定する

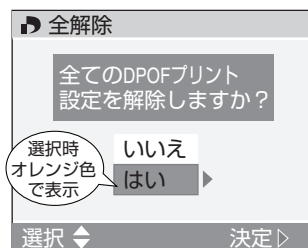
- プリント枚数は 0 〜 999 枚まで設定できます。
  このとき、プリント枚数を 0 にすると、DPOF プリント設定が解除されます。
- 設定終了後、[MENU] ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

■ 複数設定

画像を選び、プリント枚数を設定する

- この手順を繰り返します。
- プリント枚数は 0 〜 999 枚まで設定できます。
  このとき、プリント枚数を 0 にすると、DPOF プリント設定が解除されます。
- 設定終了後、[MENU] ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

つづく

■ 全解除

[はい]を選び、すべてのDPOFプリント設定を解除する

- 解除終了後、[MENU] ボタンを押して、メニューを終了します。

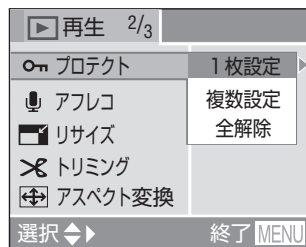
■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISPLAY] ボタンを押すごとに日付プリントを設定 / 解除できます。

- お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付印刷することを別途指定してください。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付をプリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

- DPOFプリント設定すると、PictBridge対応のプリンターで出力するときにも便利です。(P118)
- DPOF とは Digital Print Order Format の略です。DPOF 対応のシステムで活用できるようにプリント情報を書き込むことができるようにしたものです。
- DCF 規格に準拠してないファイルは DPOF プリント設定できません。[DCFとはDesign rule for Camera File system の略で、(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) のファイルシステム規格に準拠した記録方式です]
- 本機でDPOFプリント設定するときは、他機で設定された DPOF 情報をすべて解除する必要があります。

プロテクト

画像を誤って削除することがないように、削除したくない画像にプロテクトを設定することができます。

[1 枚設定]、[複数設定]、または [全解除] を選ぶ

■ 1 枚設定

画像を選び、設定 / 解除する

設定 :プロテクト表示が出ます。
解除 :プロテクト表示が消えます。

- 設定 / 解除終了後、[MENU] ボタンを2回押してメニューを終了します。

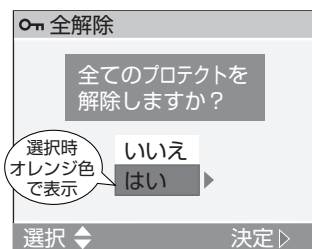
■ 複数設定

画像を選び、設定 / 解除する

設定 :プロテクト表示が出ます。
解除 :プロテクト表示が消えます。

- この手順を繰り返します。
- 設定 / 解除終了後、[MENU] ボタンを2回押してメニューを終了します。

つづく

■ 全解除

[はい] を選び、すべてのプロテクト設定を解除する

- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

- プロテクト設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気を付けください。
- プロテクトされた画像は削除できません。ファイルを削除したいときは、プロテクト設定を解除してください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は削除されます。(P112)
- プロテクト設定をしていなくても、SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、画像の削除はできません。

- 画像をプロテクトすると以下の機能が使えません。
  - 画像回転（P101）
  - アフレコ（P106）

アフレコ

撮影した画像に、あとから音声を入れて音声付き静止画を作ることができます。

画像を選び、録音を開始する

- すでに音声が入っている場合、確認画面が表示されます。
  ▼で[はい]を選び、▶ボタンを押して録音を開始してください。
  （元の音声はなくなります）
- 動画、プロテクトされた画像、クオリティが[TIFF]または[RAW]で撮影された画像にはアフレコはできません。
- 他機で撮影された画像にはアフレコはできない場合があります。

録音を終了する

- ▼ボタンを押すと、録音が終了します。
- ▼ボタンを押さなくても、約 10 秒間録音すると、自動的に終了します。
- 終了後、[MENU] ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

- **アフレコ時にフォーカスリングやズームリングを回すと鏡筒がこすれる音が入る場合があります。**

リサイズ

E メール添付やホームページ用に撮影した画像の容量を小さくしたいときなどに使います。

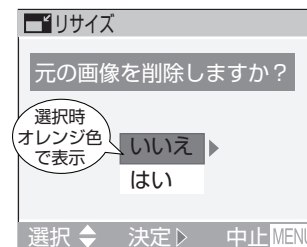
画像を選び、決定する

- 以下の画像はリサイズできません。

アスペクト設定	4:3	3:2	16:9
記録画素数	0.3M	2.5M	2M

  - ●クオリティが[TIFF]または[RAW]で撮影された画像
  - ●動画
  - ●コマ撮りアニメ
  - ●音声付き静止画
- 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。

サイズを選び、設定する

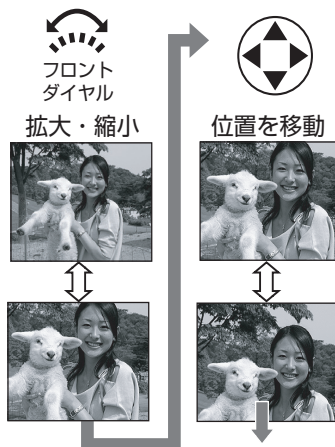
- 撮影した画像のサイズよりも、小さなサイズが表示されます。
  - ●アスペクト設定が[4:3]の画像のとき[5M]/[3M]/[2M]/[1M]/[0.3M]
  - ●アスペクト設定が[3:2]の画像のとき[4.5M]/[2.5M]
  - ●アスペクト設定が[16:9]の画像のとき[2M]

[はい] または [いいえ] を選び、決定する

- [はい]を選ぶと画像が上書きされます。リサイズされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。
- [いいえ]を選ぶとリサイズされた画像が新しく作成されます。
- リサイズ終了後、[MENU] ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

トリミング

撮影した画像の必要な部分を切り抜きたいときに使います。

画像を選び、決定する

- 以下の画像はトリミングできません。
  - クオリティが [TIFF] または [RAW] で撮影された画像
  - 動画
  - コマ撮りアニメ
  - 音声付き静止画
- 他機で撮影された画像はトリミングできない場合があります。

切り抜く部分を選び、決定する

- 「元の画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。

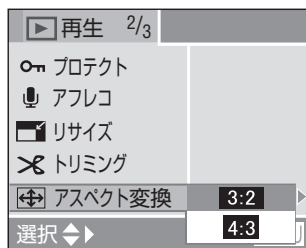
[はい] または [いいえ] を選び、決定する

- [はい]を選ぶと画像が上書きされます。トリミングされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。
- [いいえ]を選ぶとトリミングされた画像が新しく作成されます。
- トリミング終了後、[MENU] ボタンを2回押してメニューを終了します。

- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと画質が劣化します。

つづく

アスペクト変換

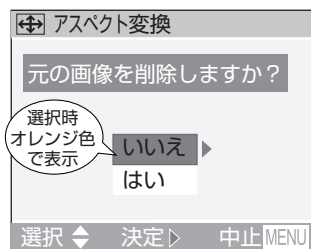
[16:9] で撮影した画像を、プリント用に [3:2] または [4:3] に変換することができます。

[3:2] または [4:3] を選ぶ

- [16:9] で撮影された画像のみアスペクト変換できます。

画像を選び、決定する

- [16:9] 以外の画像を選んで決定すると、「この画像には設定できません」とメッセージが表示されます。

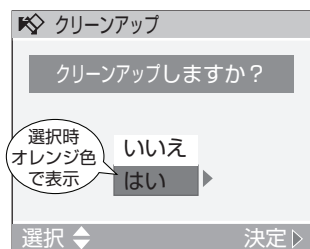
左右の位置を決定し、シャッターボタンで決定する

- 縦に回転されている画像は ▲/▼ で枠移動を行い決定します。

[はい] または [いいえ] を選び、決定する

- アスペクト変換終了後、[MENU] ボタンを２回押してメニューを終了します。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。

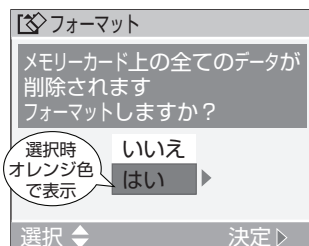
- 音声付き静止画、動画、[TIFF] または [RAW] で撮影した画像にはアスペクト変換できません。
- 他機で撮影された画像はアスペクト変換できない場合があります。
- DCF 規格に準拠してないファイルはアスペクト変換できません。
［DCFとはDesign rule for Camera File system の略で、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）のファイルシステム規格に準拠した記録方式です］

クリーンアップ

SD メモリーカードのデータ書き込み速度低下を回復させます。
SD メモリーカードは、一般的に撮影や削除を繰り返すと、データの書き込み速度が低下する特性があります。動画記録時に途中で記録が終了する場合がありますので、動画撮影前に本機でクリーンアップすることをおすすめします。

[はい] を選び、クリーンアップする

- クリーンアップは、カードの空き領域について書き込み速度を回復させる機能です。記録されている画像やデータは削除されません。
- クリーンアップを行った場合、終了するまで時間がかかる場合があります。
- カードの種類によっては、クリーンアップを行っても効果がない場合があります。
- マルチメディアカードはクリーンアップできません。
- クリーンアップ中は電源を [OFF] にしないでください。
- クリーンアップするときは、十分に充電されたバッテリー（P13）またはバッテリーチャージャー /AC アダプター（別売：DMW-CAC1）を使用してください。
- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは、クリーンアップできません。

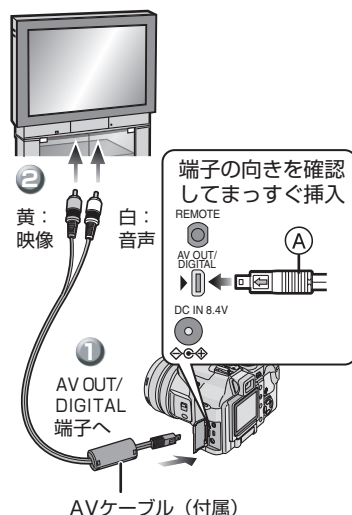
フォーマット

カードを初期化します。

[はい] を選び、フォーマットする

- 通常、カードはフォーマットする必要はありません。「メモリーカードエラー」とメッセージが表示された場合などにフォーマットしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットされた場合、もう一度本機でフォーマットしてください。
- プロテクトされた画像も含めてすべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。
- フォーマット中は電源を [OFF] にしないでください。
- フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリー（P13）またはバッテリーチャージャー /AC アダプター（別売：DMW-CAC1）を使用してください。
- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは、フォーマットできません。
- カードがフォーマットできないときはお買い上げの販売店へご連絡ください。

テレビで画像を再生する

モードダイヤル設定：[▶]

■ AV ケーブル(付属)を使って見る
● 電源を [OFF] にし、テレビの電源も切っておく。

本機の [AV OUT] 端子に AV ケーブルを確実に接続する
● AV ケーブルの [➡] マークが端子部の[▶]マークに合うように接続してください。
● AV ケーブルは、Ⓐ 部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

テレビの映像入力端子と音声入力端子に AV ケーブルを接続する

テレビの電源を入れ、外部入力にする

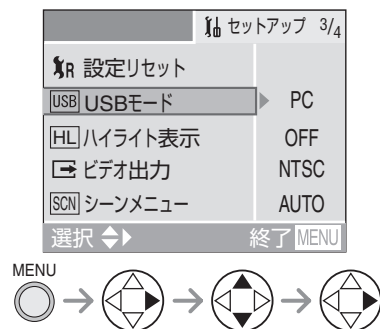
本機の電源を [ON] にし、モードダイヤルを再生 [▶] にする
● モードダイヤルを再生 [▶] にしているときのみ、テレビに画像を表示させることができます。

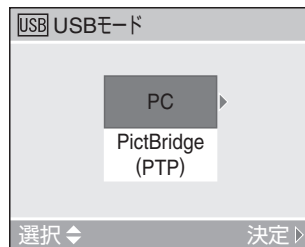
■ SD メモリーカードスロット付テレビで見る

SD メモリーカードスロット付テレビに撮影した SD メモリーカードを入れて、静止画を再生することができます。(テレビの機種によって画像が全画面で表示されないことがあります。また、マルチメディアカードは、SD メモリーカードスロット付テレビで再生できないことがあります)
● 動画を再生することはできません。動画を再生したい場合は、AV ケーブル（付属）を使用し、本機をテレビに接続してください。

● 付属の AV ケーブル以外は使わないでください。
● 画面が流れたり色が付かない場合は、[ビデオ出力] が [NTSC] に設定されているか確認してください。(P25)
● テレビの説明書もお読みください。
● 海外で見るときは 137 ページをお読みください。
● 本機をテレビに接続し、画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。(付属の AV ケーブルを使用する場合)
● 本機をテレビに接続し再生すると、画面周辺部が一部映らないことがありますが、テレビの仕様によるもので、故障ではありません。

パソコンやプリンターと接続する前に（USB）

USB 接続ケーブル（付属）を使って本機をパソコンやプリンターに接続する前に、USB 通信方式を選択します。
セットアップメニューの [USB モード] で設定してください。（P25）

MENU

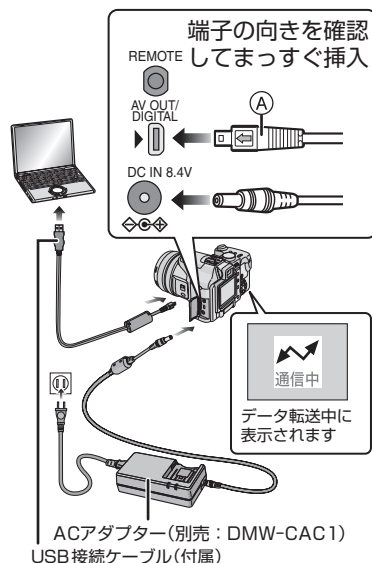
[USB モード] を選ぶ

[PC] または [PictBridge（PTP）] を選び、決定する

- パソコンに接続する場合は [PC] に設定してください。
- PictBridge 対応プリンターに接続する場合は [PictBridge] に設定してください。（P118）
- [MENU] ボタンを押して終了してください。

- [PC] を選択すると、USB の Mass（マス） Storage（ストレージ） 通信方式で接続されます。
- [PictBridge（PTP）] を選択すると、USB の PTP（Picture（ピクチャー） Transfer（トランスファー） Protocol（プロトコル））通信方式で接続されます。

パソコンと接続する

つづく

本機をパソコンと接続すると、画像を取り込むことができます。
また、CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」（Windows®用）を使うと、パソコンに画像を取り込んで印刷したり、メールで送ることが簡単にできます。
Windows 98/98SE をご使用の方のみ、USB ドライバーのインストールを行ってから接続してください。
CD-ROM（付属）のソフトウェアやインストールなど詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」を参照してください。

本機の電源を[OFF]にしてから、バッテリーチャージャー/AC アダプター（別売：DMW-CAC1）のケーブルを抜き差ししてください。

1 電源を [ON] にして、セットアップメニューの [USB モード] を [PC] に設定する（P114）

- [USB モード] を [PictBridge (PTP)] にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。
  [キャンセル]（中止）を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。設定し直してから再度接続してください。

2 USB 接続ケーブル（付属）で、本機とパソコンを接続する

- USB 接続ケーブルの [] マークが端子部の[▶]マークに合うように接続してください。
- USB 接続ケーブルは、Ⓐ 部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めや裏向きにして無理に挿入すると、端子が変形して本機や接続する機器の故障の原因になります）

Windows の場合

[マイ コンピュータ]フォルダーにドライブが表示されます。

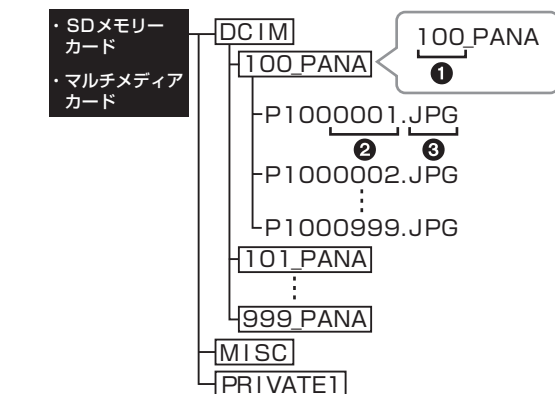
- はじめて接続したときは、Windows のプラグアンドプレイにより、本機を認識するために必要なドライバーが自動的にインストールされ、そのあと[マイ コンピュータ]フォルダーにドライブが表示されます。

Macintosh の場合

画面上に[NO_NAME]または[名称未設定] と表示されます。

■ フォルダー構造について

フォルダーが下図のように参照されます。

❶フォルダー番号
❷ファイル番号
❸JPG ：画像
　MOV ：動画

各フォルダーの内容は以下のとおりです。

DCIM	100_PANA ～ 999_PANA
100_PANA	画像 / 動画
MISC	DPOF 設定が記録されたファイル
PRIVATE1	コマ撮りアニメの画像

● 本機で記録した場合は、1つのフォルダーにつき最大999 枚の画像データが入ります。それを超えると次のフォルダーが作成されます。
● ファイル番号やフォルダー番号をリセットする場合は、セットアップメニューの [番号リセット] を行ってください。（P24）

■ フォルダー番号が変更される条件について

下記の条件で撮影を行った場合、新しい画像ファイルは直前に画像が記録されたフォルダー番号と異なる番号のフォルダーの中に記録されます。

1 直前に記録されたフォルダーの中にファイル番号 999の画像ファイル（例：P1000999.JPG）がある場合。
2 直前に記録されたカードの中にフォルダー番号100（例：100_PANA）のフォルダーがあるときに、そのカードを抜いて新たに他社のカメラで撮影した、フォルダー番号100（例：100_XXXXX、XXXXX はメーカー名など）を持つカードを挿入して撮影した場合。（メーカーにかかわらず同じ番号のフォルダーがあるカードが挿入された場合）
3 セットアップメニューから ［番号リセット］（P24）を選び、実行したあとに撮影した場合。（直前に記録されたフォルダーの続きの番号の新しいフォルダーに記録されます。フォーマット直後など、カードの中にフォルダーや画像がない状態で［番号リセット］を実行すると、フォルダー番号を 100 に戻すこともできます）

- 通信中にバッテリー残量がなくなると、データが破壊される恐れがあります。接続するときは十分に残量のあるバッテリー（P13）またはバッテリーチャージャー/ACアダプター（別売：DMW-CAC1）を使用してください。
- 通信中にバッテリー残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し（P13）警告音が鳴りますので、すぐに通信を中止してください。
- 「通信中」と表示されている間は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
- **Windows 2000を使用してUSB接続した場合には、接続したままでカードの交換を行わないでください。カード内の情報を破壊する恐れがあります。カードの交換をするときは、USB接続ケーブルを外してから行ってください。詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。**
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。
- パソコンの説明書もお読みください。

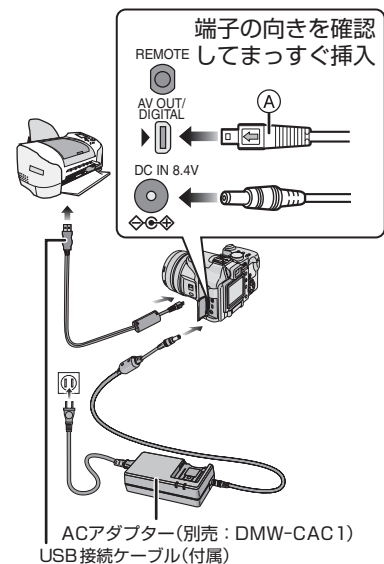
■ PictBridge(PTP)設定について

Windows XP Home Edition/Professional、Mac OS Xのみ[USBモード]を[PictBridge（PTP）]にしても接続できます。

- 本機からは、画像の読み出しのみ行うことができます。カードへの書き込みや、削除はできません。
- カードの中に1000枚以上画像があると、取り込めない場合があります。

PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンターに接続してプリントする

USB 接続ケーブル（付属）を使って本機を PictBridge に対応したプリンターに直接接続し、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。
あらかじめプリンター側で印字品質などのプリントの設定をしてください。（プリンターの説明書をお読みください）

■ 接続する

本機の電源を[OFF]にしてから、バッテリーチャージャー /AC アダプター（別売 : DMW-CAC1）のケーブルを抜き差ししてください。

電源を ［ON］ にして、セットアップメニューの ［USB モード］を［PictBridge(PTP)］に設定する（P114）

プリンターの電源を入れる

USB 接続ケーブル（付属）で、本機とプリンターを接続する

- USB 接続ケーブルの [➡] マークが端子部の[▶]マークに合うように接続してください。
- USB 接続ケーブルは、Ⓐ 部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

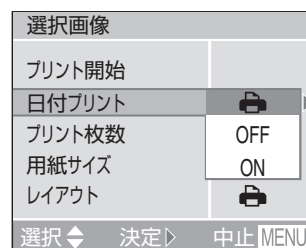
DPOF プリントを設定していない	「選択画像」（P119）へ
DPOF プリントを設定している（P102）	「DPOF」（P120）へ

- プリントに時間がかかる場合がありますので、接続するときは十分に残量のあるバッテリー（P13）またはバッテリーチャージャー /AC アダプター（別売：DMW-CAC1）を使用してください。
- 通信中にバッテリー残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し（P13）、警告音が鳴りますので、すぐに通信を中止してください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。
- シーンモードの赤ちゃんモード（P72）の月齢/年齢をプリントしたい場合は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使ってパソコンからプリントしてください。詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

つづく

選択画像

画像を選ぶ

● メッセージは約２秒後に消えます。

プリントの設定をする

● プリンターが対応していない項目はグレーで表示され、選択することができません。
● 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定で印刷したい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を [ ] にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）

■ 日付プリント

	プリンターの設定が優先されます。
OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

● プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。

■ プリント枚数

● プリントする枚数を設定してください。

■ 用紙サイズ

（本機で設定可能な用紙サイズ）
1/2と2/2に分かれて表示されます。
▼ を押して選択してください。

1/2	
	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
A4	210 mm×297 mm

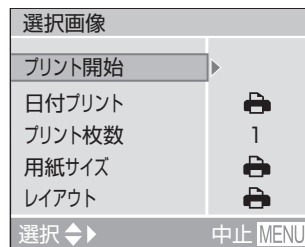
2/2※	
カード	54 mm×85.6 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm

※プリンターが対応していない場合は、これらの項目は表示されません。

■ レイアウト

（本機で設定可能なレイアウト）

	プリンターの設定が優先されます。
	1 面ふちなし印刷
	1 面ふちあり印刷
	2 面印刷
	4 面印刷

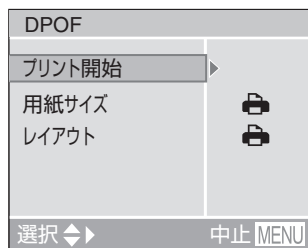
③

[プリント開始] を選び、プリントする

- 途中でプリントを中止したい場合は [MENU] ボタンを押してください。

DPOF

- あらかじめ本機で DPOF プリントの設定をしておく。(P102)

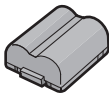
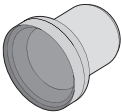
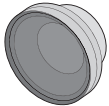
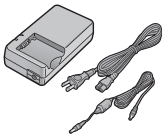
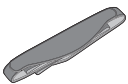
[DPOF] を選ぶ

- 新たに設定した内容でDPOFプリントする場合は、一度 USB 接続ケーブルを抜いてから、もう一度プリンターに接続してください。
- [MENU] ボタンを押すと DPOF プリントの設定が変更できます。(P102)

[プリント開始] を選び、プリントする

- プリントの設定をしたい場合は 119 、120 ページをお読みください。
- 途中でプリントを中止したい場合は [MENU] ボタンを押してください。

■ DPOF プリント設定で日付プリントを指定しておく

お使いのプリンターが DPOF の日付プリント設定に対応しているときは、DPOF プリント設定であらかじめ日付プリントを設定しておくことをおすすめします。(P102) [DPOF] を選んでプリントを開始すると、撮影日時がプリントされます。

- ケーブル切断禁止アイコン [ ] が表示されているときは、USB 接続ケーブルを抜かないでください。
- プリント中にオレンジ色の [●] のアイコンが表示されているときは、プリンターからエラーメッセージを受けとっています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリンターが TIFF プリントに対応していない場合は、TIFF に関連した JPEG 画像がプリントされます。
- プリンターが RAW プリントに対応していない場合は、RAW ファイルに関連した JPEG 画像がプリントされます。
- TIFF または RAW に関連した JPEG 画像がないときは、印刷できない場合があります。
- DPOF 印刷の場合、プリント枚数の合計が多い場合や、たくさんの画像を設定している場合、複数回に分けて印刷される場合があります。
  (残り枚数の表示が設定枚数と異なりますが、故障ではありません)
- 日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。
- プリンターが、日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。

■ レイアウト印刷について

- **1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合**
  例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト] を 4 面印刷に設定し、印刷したい画像の [プリント枚数] を4枚に設定してください。
- **1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合(DPOF プリントのみ)**
  例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト] を 4 面印刷に設定し、DPOF プリント設定 (P102) で4つの画像を [プリント枚数] 1枚でそれぞれ選択してください。

別売アクセサリーを使う

品番		品名
DMW-BMA7		バッテリーパック 付属のバッテリーと同等品です。
DMW-LMC55		MCプロテクター 本機のレンズを保護します。
DMW-LND55		NDフィルター 色調に変化を与えずに光量だけを−3 EV分減少させることができます。
DMW-LT55		テレコンバージョンレンズ より望遠（1.7倍）に撮ることができます。
DMW-LW55		ワイドコンバージョンレンズ より広角（0.7倍）に撮ることができます。
DMW-RS1		シャッターリモコン 三脚使用時に手ぶれを防ぐことができます

品番		品名
DMW-CAC1		バッテリーチャージャー/ACアダプター （本品は共用タイプです）
DMW-CZA30		本革ケース 本機を傷やほこりから守ります。
PE-28S PE-36S		外部フラッシュ 内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。
DMW-SSTZ1		ショルダーストラップ

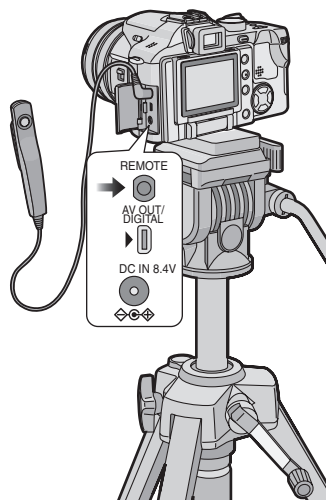
別売品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

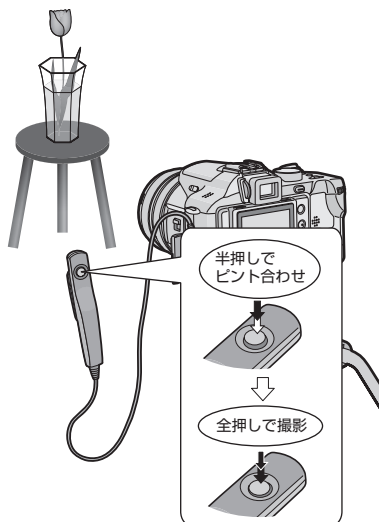
Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/
TEL　06-6907-9144
パナセンスカスタマーセンター

シャッターリモコンを使う

シャッターリモコン（別売：DMW-RS1）を使用すると、三脚使用時に手ぶれを防ぐことができます。本体のシャッターボタンと同様の働きをします。

①

本機の REMOTE 端子にシャッターリモコンを確実に接続する

②

ピントを合わせて撮影する

- 以下のとき、シャッターリモコンでは操作できません。
  - パワーセーブを解除するとき
  - トリミングする部分を決定するとき（P108）
  - アスペクト変換を決定するとき（P109）

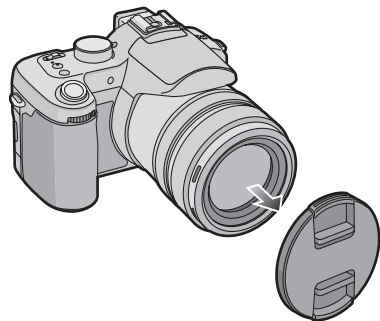
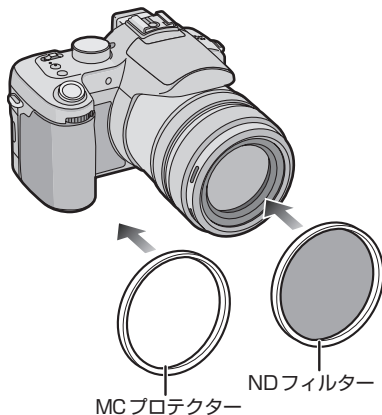
その他

MC プロテクター /ND フィルターを付ける

MC プロテクター（別売：DMW-LMC55) は、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。また、ND フィルター（別売：DMW-LND55) は、色調に変化を与えずに、光量だけを1/8（3 絞り分）に減少させることができます。

❶

レンズキャップを外す

❷

MC プロテクターまたは ND フィルターを取り付ける

- MC プロテクターと ND フィルターを同時に取り付けることはできません。
- MC プロテクターや ND フィルターを強く締め付けないようにしてください。
- MC プロテクターや ND フィルターを付けたままでフラッシュを使用した場合は、画面の下が暗く（ケラレ）なる場合があります。
- MCプロテクターやNDフィルターが落下すると、壊れる恐れがあります。装着するときなどは、落とさないようお気を付けください。
- MC プロテクターや ND フィルターを付けたまま、レンズフードを取り付けることができます。
- コンバージョンレンズ（別売）を使う場合は、MC プロテクターや ND フィルターを外してお使いください。

液晶モニター / ファインダーの表示

つづく

液晶モニター / ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

撮影時

1 撮影モード(P36)
2 フラッシュモード(P49)
3 連写(P57)
　:音声記録(P67、83)
4 コンバージョンレンズ(P91)
5 AF 連続動作(P86)
6 ホワイトバランス(P79)
7 ISO 感度(P81)
8 フォーカス(P37)
9 記録画素数(P31)
10 クオリティ(P83)
　30fps VGA/10fps VGA/30fps QVGA/10fps QVGA :動画時(P67)
　:手ぶれ警告(P39)
11 バッテリー残量(P13)
12 カラーエフェクトモード(P87)
13 残り枚数 / 時間
動画時:×××秒
14 カードアクセス(P16)
15 記録動作
16 ヒストグラム(P30)
17 ズーム(P34)/
　2X デジタルズーム(P34)/
　EZ 1X 拡張光学ズーム(P35)
18 月齢 / 年齢(P72)
赤ちゃんモードで起動時 / 時計設定後 / 誕生日設定後 / 他のモードから赤ちゃんモードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。
19 逆光補正操作(P43)
20 現在日時
起動時 / 時計設定 / 再生モードから撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。
21 シャッタースピード(P37)
22 絞り値(P37)
23 プログラムシフト(P39)
24 AE ロック(P40)
25 露出補正(P54)
　逆光補正(P43)
26 オートブラケット(P55)
27 測光モード(P84)
28 プログラムシフト(P39)
29 スポット測光ターゲット(P84)
30 AF エリア(P37)
31 スポット AF エリア(P84)
32 AF 補助光(P86)
33 セルフタイマーモード(P53)
34 フラッシュ発光量調整(P51)
35 手ぶれ補正(P56)
36 MF(P46)/ AF マクロ(P45)

再生時

再生時

1 再生モード
2 DPOF プリント枚数(P102)
3 プロテクト(P104)
4 音声付き静止画 / 動画(P96)
5 記録画素数(P82)
6 クオリティ(P83)
30fps VGA/10fps VGA/30fps QVGA/10fps QVGA：
動画時(P96)
7 バッテリー残量(P13)
8 フォルダー·ファイル番号
(P116)
9 ページ番号 / トータル枚数
10 ヒストグラム(P30)
11 撮影情報
12 お気に入り設定(P99)
13 撮影日時
14 月齢 / 年齢(P72)
15 音声再生(P96)
動画再生▽：動画時
16 コマ撮りアニメ(P88)
17 お気に入り表示(P99)

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

🛇	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

指定以外のバッテリーパックを使わない
バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になったバッテリーについては、１３６ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
  液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠危険

バッテリーチャージャーは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーパックは、本機専用のバッテリーチャージャーで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠警告

電源プラグを破損するようなことはしない（加工したり、熱器具に近づけたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

● プラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V～240 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

● 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
● 特にお子様にはご注意ください。

メモリーカードやレンズキャップは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれた手で、バッテリーチャージャーの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷が鳴り出したら、本機の金属部やバッテリーチャージャーの電源プラグに触れない

接触禁止

落雷すると、感電の原因になります。

⚠警告

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

異常があったときは、バッテリーパックを外す

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

● 販売店にご相談ください。

⚠注意

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やカード、バッテリー、バッテリーチャージャーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

フラッシュやAF補助光の発光中に、近くで発光部を直接見ない

強い光により、目を痛める原因になることがあります。

⚠注意

フラッシュの発光部分を直接手で触らない

やけどの原因になることがあります。

● 発光直後は、しばらく触らないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

● 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、バッテリーパックを外す

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

● カードは、保護のため取り出しておいてください。

使用上のお願い

つづく

■ 本機について

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わるとレンズや外装ケースが壊れ、故障します。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやバッテリーチャージャー/AC アダプター(別売:DMW-CAC1)を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーを外す、または電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 本機は、柔らかい乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を水でうすめ、布をひたし、よく絞って汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい布を水に浸し、よく絞ってふき取ってください
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 万一雨水や水滴がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

■ バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気を付けください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P137)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

● 端子部が変形したまま本機に付けると、本機をいためます。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

● ホームページ
http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

● 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
● 分解しないでください。

充電式
リチウムイオン
電池使用

■ チャージャーについて

● ラジオ(特に AM 受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
● 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
● 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、最大約 0.1 W の電力を消費しています)
● チャージャーの端子部を汚さないでください。

■ カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

● カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
● 使用後や保管、持ち運び時はケースや収納袋に入れてください。
● カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

■ 画像データについて

● 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 三脚について

市販のカメラ用三脚を使うと、シャッタースピードが遅いときや、望遠で撮影するときでも手ぶれのない安定した撮影ができます。

● 三脚使用時は、バッテリーは取り出せない場合があります。
● 三脚の説明書もよくお読みください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

海外で使う

撮ったものを海外で見るには

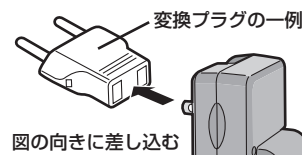
セットアップメニュー（再生モード）画面から［ビデオ出力］を選んで設定すると、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国・地域と、PAL 方式を採用している国・地域でテレビに接続して見ることができます。

日本と同じ NTSC 方式を採用している国・地域

- アメリカ合衆国
- アンチグア・バーブーダ
- イエメン（一部地域）
- 英領バーミューダ諸島
- エクアドル
- エルサルバドル
- ガイアナ
- カナダ
- キューバ
- グァテマラ
- グァム島
- グレナダ
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- スリナム
- セントクリストファー・ネイビス
- セントビンセント・グレナディーン諸島
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ共和国
- ドミニカ国
- トリニダード・トバゴ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バハマ
- バルバドス
- フィジー
- フィリピン
- プエルトリコ
- 米領サモア
- ベトナム（一部地域）
- ベネズエラ
- ベリーズ
- ペルー
- ボリビア
- ホンジュラス
- マーシャル諸島
- マリアナ諸島
- ミクロネシア連邦
- ミャンマー
- メキシコ

つづく

チャージャーは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

チャージャーは日本国内で使用することを前提として設計されており、海外旅行などでの一時使用では問題ありませんが、継続的な使用は避けてください。ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米									
アメリカ合衆国	A	カナダ	A						
ヨーロッパ・旧ソ連地域									
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B, BF	イタリア	C	ウクライナ	C	オーストリア	C
オランダ	C	カザフスタン	C	ギリシャ	C	スイス	B, C	スウェーデン	C	スペイン	A, C
デンマーク	C	ドイツ	C	ノルウェー	C	ハンガリー	C	フィンランド	C	フランス	C
ベラルーシ	C	ベルギー	C	ポーランド	B, C	ポルトガル	B, C	ルーマニア	C	ロシア	C
アジア											
インド	B, C	インドネシア	B, C	シンガポール	B, BF	スリランカ	B	タイ	A, BF, C	大韓民国	A, B, C
台湾	A	中華人民共和国	A, B, BF, C, S	ネパール	C	パキスタン	B, C	バングラデシュ	C	フィリピン	A, C, S
ベトナム	A, C	香港特別行政区	B, BF	マカオ特別行政区	B, C	マレーシア	B, BF, C	モルジブ	B	モンゴル	C
オセアニア											
オーストラリア	S	グァム島	A	タヒチ	C	トンガ	S	ニュージーランド	S	フィジー	S
中南米											
アルゼンチン	BF, C, S	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B, C	ハイチ	A	パナマ	A
バハマ	A	プエルトリコ	A	ブラジル	A, C	ベネズエラ	A	ペルー	A, C	メキシコ	A
中東											
イスラエル	C	イラン	C	クウェート	B, C	ヨルダン	B, BF				
アフリカ											
アルジェリア	A, B, BF	エジプト	B, BF, C	カナリア諸島	C	ギニア	C	ケニア	B, C	ザンビア	B, BF
タンザニア	B, BF	南アフリカ共和国	B, C	モザンビーク	C	モロッコ	C				

タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

メッセージ表示

つづく

確認 / エラー内容を液晶モニター / ファインダーに文章で表示します。
ここでは、その主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
このメモリーカードはプロテクトされています	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。(P16)
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから削除や上書きをしてください。
削除できない画像があります / この画像は削除できません	DCF 規格に準拠していない画像は削除できません。 削除したい場合は、パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマットしてください。
設定枚数をこえました	複数削除で一度に設定できる枚数を超えています。一度決定してから、複数削除を続けてください。
	お気に入り設定が 999 枚を超えています。
この画像には設定できません	DCF 規格に準拠していない画像は DPOF 設定できません。
メモリーカードエラー・ フォーマットしますか？	本機では認識できないフォーマットです。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマットし直してください。
電源を入れ直してください	本機が正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

メッセージ	実行していただきたいこと
メモリーカードエラー **カードを確認してください**	カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ※ miniSD™ アダプターに miniSD™ カードを入れずに本機に挿入したときもこの表示が出ます。必ずアダプターに miniSD™ カードを入れてお使いください。
リードエラー **カードを確認してください**	データの読み込みに失敗しました。もう一度再生してください。
ライトエラー **カードを確認してください**	データの書き込みに失敗しました。カードを抜くか、一度電源を [OFF] にしてから、再度 [ON] にして記録してください。またはカードが破壊されている可能性があります。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	● [画質設定] を [30fpsVGA] に設定している場合は、パッケージなどに「10 MB/s」以上の記載がある高速タイプの SD メモリーカードを使用することをおすすめします。 ● カードの種類や撮影回数、画像削除の回数によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。このようなときは、クリーンアップすると改善されることがあります。事前に本機でクリーンアップすることをおすすめします。(P111)
フォルダを作成できません	カードの容量がいっぱいのため、フォルダーを作成できません。 パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマットしてください。

故障かな？と思ったら

つづく

メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すと、症状が改善する場合があります。
セットアップメニューの [設定リセット] を実行してください。（P25）

■ バッテリー、電源について

Q（質問）	A（回答）
電源を[ON]にしても動作しない。	バッテリーは正しく入っていますか？
	バッテリーは十分に充電されていますか？ 十分に充電されたバッテリーをお使いください。
電源を [ON] にしてもすぐに切れる。	バッテリーが消耗していませんか？ バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを入れてください。

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
画像が撮れない。	カードが入っていますか？
	モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？
	カードのメモリー残量はありますか？ 撮影する前にいくつかの画像を削除してください。
ピントが合わない。	撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。モードダイヤルを回して、被写体までの距離に応じたモードにしてください。
	ピントが合う範囲から外れていませんか？（P38）
	何度ピントを合わせようとしても合わない場合は、電源を [OFF] にしてから、もう一度 [ON] にしてください。
撮影した画像がぶれている。	特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ぶれ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、本機を両手でしっかり持って撮影されることをおすすめします。 また、スローシャッターで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー（P53）を使って撮影することをおすすめします。（P39）

■ 撮影について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
撮影した画像が白っぽい。 レンズが汚れている。	レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。汚れたときは、電源を入れ、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
動画撮影が途中で止まる。	マルチメディアカードを使用していませんか？本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
	● [画質設定]を[30fpsVGA]に設定している場合は、パッケージなどに「10 MB/s」以上の記載がある高速タイプの SD メモリーカードを使用することをおすすめします。 ● カードの種類や撮影回数、画像削除の回数によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。このようなときは、クリーンアップすると改善されることがあります。事前に本機でクリーンアップすることをおすすめします。（P111）

■ 液晶モニターについて

Q（質問）	A（回答）
液晶モニター/ ファインダーの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。
液晶モニターに画像が出ない。	ファインダー表示になっていませんか？ [EVF/LCD] ボタンを押して液晶モニター表示に切り換えてください。
液晶モニター/ ファインダーが明るすぎたり、暗すぎる。	液晶モニター / ファインダーの明るさを正しく調整してください。
液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯する。	これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像には影響しません。

つづく

■ 液晶モニターについて(つづき)

Q(質問)	A(回答)
液晶モニターに縦じまが出る。	スミアという現象です。これは CCD の特徴であり、異常ではありません。被写体に明るい部分があると出ます。また、スミアの周辺に横引き状のムラが発生する場合があります。動画撮影では記録されますが、静止画像には影響しません。
液晶モニターにムラが出る。	液晶モニターの周囲を持つと、液晶モニターにムラが発生しますが、故障ではありません。また、撮影画像や再生画像にも影響はありません。

■ フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	フラッシュを閉じていませんか？ [⚡OPEN] レバーをスライドさせて、フラッシュを開いてください。
	動画撮影モード [ ]、シーンモードの風景（P71）、夜景（P72）、花火（P75）、星空（P76）を選択しているときは、フラッシュを開けていても発光しません。
フラッシュが２回発光する。	赤目軽減オートにしている場合、１回目の発光は人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえるため予備発光します。そのあと、撮影のために再び発光します。

■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が、意図しない方向に回転して表示される。	本機では、縦に構えて撮影した画像を自動的に回転して表示する機能があります。 (本機を上に向けたり下に向けたりして撮影すると、本機が縦に構えて撮影したと認識する場合があります) ● [回転表示]（P100）を [OFF] にすると画像は回転せずに表示されます。 ● [画像回転]（P101）で画像を回転することができます。

■ 再生について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
再生できない。	モードダイヤルは再生 [▶] に設定されていますか？
	カードが入っていますか？
	カードに再生できる画像はありますか？
再生した画像が粗い / ノイズが出る。	ISO 感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？ ● ISO 感度を低くしてください。（P81） ● [画質調整]の[ノイズリダクション]を[高]にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目を [低] にしてください。（P87） ● 明るい場所で撮影してください。
フォルダー･ファイル番号が [—] で表示され、画面が黒くなる。	パソコンで編集した画像、または当社製以外のデジタルカメラで撮影された画像ではないですか？ 撮影直後にバッテリーを抜いたり、消耗したバッテリーで撮影すると、まれに左記のような画像が記録されることがあります。 ● 左記のような画像を削除するには、フォーマット（P112）してください。 （他の画像も含めて、すべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください）

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。 テレビ画面が流れたり色が付かない。	正しく接続されていますか？
	テレビの入力切換を外部入力に設定してください。
	本機の［ビデオ出力］を［NTSC］に設定してください。
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	テレビの機種によっては、表示される領域が狭く、画像の上下や左右が切れて表示されることがありますが、異常ではありません。このような場合は、本機の液晶モニターで確認してください。

つづく

■ テレビ、パソコン、プリンターについて（つづき）

Q（質問）	A（回答）
パソコンに接続して画像を転送できない。	正しく接続されていますか？
	パソコンが本機を正常に認識していますか？
	本機の [USB モード] を [PC] に設定してください。（P114）
パソコンにカードが認識されない。	USB 接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態で USB 接続ケーブルを接続し直してください。
プリンターに接続して、プリントができない。	プリンターは PictBridge に対応していますか？ 対応していないプリンターではプリントできません。（P118）
	本機の [USB モード] を [PictBridge(PTP)] に設定してください。（P114）
プリントすると、画像の端が切れる。	● トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください） ● お店によっては、アスペクト設定（P81）を [16:9] に設定して撮影した画像を 16：9 のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

■ その他

Q（質問）	A（回答）
メニューの言語が英語表示になっている。	[MENU] ボタンを押してセットアップメニュー [ ] から [ ] アイコンを選び、言語設定をしてください。
オートレビューの設定ができない。	連写（P57）、オートブラケット撮影（P55）、音声記録 [ON]（P83）、動画撮影モード [ ]（P67）になっていませんか？これらの設定のときは、セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
画像の一部が点滅する。	白とびが起こっている部分を示す、ハイライト表示機能です。（P29）
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	暗い場所ではピントを合いやすくするために、AF 補助光ランプ（P86）が赤く点灯します。

■ その他(つづき)

Q(質問)	A(回答)
本機を振ると「カタカタ」と音がする。	これは、レンズが移動する音で故障ではありません。
AF 補助光が点灯しない。	撮影メニューの [AF 補助光] を [ON] にしていますか?
	暗い場所での撮影ですか?明るい場所では AF 補助光は点灯しません。
	シーンモードの風景(P71)、夜景(P72)、花火(P75)、流し撮り(P77)を選択しているときは、AF 補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
ズームを操作すると、「ジー」などの音がする。	ズームリングを回したとき、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので異常ではありません。
時計が合っていない。	本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計の設定をしてください。
	時計設定をしない状態で撮影すると、[0.0. 0 0:00] の日付が記録されます。
画像の周囲に、実際にはない色が付いている。	本機はレンズの特性により、色ずれが起こる場合があります。異常ではありません。
ファイル番号が連続して記録されない。	特定の操作を行ったあとに撮影を行うと、それまでの番号と異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。(P116)
ファイル番号がさかのぼって記録される。	電源を [OFF] にせずバッテリーを抜き差しした場合、撮影していたフォルダー番号を記憶することができません。従って、再度電源を [ON] にして撮影した場合、前回撮影していたフォルダー番号と異なるフォルダー番号で記録されることがあります。

仕様

つづく

電源	DC 8.4 V
消費電力	2.1 W（液晶モニター撮影時） 2.0 W（ファインダー撮影時） 1.2 W（液晶モニター再生時） 1.1 W（ファインダー再生時）

カメラ有効画素数	800 万画素
撮像素子	1/1.8 型 CCD　総画素数 832 万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学12倍ズーム f=7.4 mm～ 88.8 mm (35 mm フィルムカメラ換算：35 mm～ 420 mm)/　F2.8～ F3.7
デジタルズーム	最大 4 倍
フォーカス	通常 / マクロ /9 点 /3 点（H）/1 点（H）/1 点 / スポット
撮影範囲	AF： 30 cm（W 端時）/2 m（T 端時）～∞ / AF マクロ /MF： 5 cm（W 端時）/2 m（T 端時）～∞
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
連写撮影 　**連写速度** 　**連写枚数**	 3 コマ / 秒（高速）、2 コマ / 秒（低速）、約 2 コマ / 秒（フリー連写） 最大 9 コマ（スタンダード）、 最大 5 コマ（ファイン）、 カードの空き容量に依存（フリー連写）

動画撮影	640×480 画素 /320×240 画素、30 コマ / 秒、10 コマ / 秒　音声付き
ISO 感度	オート /80/100/200/400
シャッタースピード	60 ～ 1/2000 秒 星空モード：１５秒、３０秒、６０秒
ホワイトバランス	オート / 晴天 / 曇り / 白熱灯 / フラッシュ/セットモード1/セットモード２
露出	プログラム AE(P)、絞り優先 AE(A)、シャッター優先 AE(S)、マニュアル露出 (M) 露出補正 （1/3 EV ステップ、−2 EV ～ +2 EV）
測光方式	評価測光 / 中央重点測光 / スポット測光
液晶モニター	2.0 型低温ポリシリコン TFT 液晶（23.5 万画素）（視野率約 100%）
ファインダー	カラー液晶ビューファインダー（23.5 万画素）（視野率約 100%） （視度調整付き −4 ～ +4dioptor）
フラッシュ	内蔵ポップアップ式 撮影可能範囲： 約 30 cm ～ 7.0 m （W 端、[ISO AUTO] 設定時）
	オート / 赤目軽減オート / 強制発光（赤目軽減強制）/ 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止

マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	SD メモリーカード／マルチメディアカード
記録画素数 静止画 動画	アスペクト [4:3] 設定時 3264×2448 画素 /2560×1920 画素 /2048×1536画素/1600×1200画素/1280×960 画素 / アスペクト [3:2] 設定時 3248×2160画素/2560×1712画素 2048×1360 画素 アスペクト [16:9] 設定時 3072×1728画素/1920×1080画素 640×480 画素 /320×240 画素
クオリティ（圧縮率）	ファイン / スタンダード /TIFF/RAW
記録画像 ファイル形式 静止画 音声付き静止画 動画	 JPEG（DCF 準拠、Exif2.2 準拠）/TIFF(RGB)、DPOF 対応 JPEG（DCF 準拠、Exif2.2 準拠）+640×480 画素 QuickTime（音声付き静止画） QuickTime Motion JPEG（音声付き動画）

インターフェース デジタル アナログビデオ/オーディオ	 USB 2.0（Full Speed） NTSC/PAL コンポジット（メニュー切り換え）/ オーディオライン出力（モノラル）
端子 REMOTE AV OUT/DIGITAL DC IN	 ϕ2.5 mm ジャック 専用ジャック（8 pin） タイプ 3 ジャック
寸法	幅 140.75 mm× 高さ 85.5 mm× 奥行き 138.1 mm（突起部除く）
質量	約 674 g（本体） 約 740 g（メモリーカード、バッテリー含む）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10% ～ 80%

専用バッテリーチャージャー /DE-993A

定格出力	DC 8.4 V　0.43 A（充電時）
定格入力	AC100 - 240 V　50/60 Hz
入力容量	19 VA

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BMA7

電圧 / 容量	7.2 V, 710 mAh

保証とアフターサービス（よくお読みください）

つづく

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
「本体」にはソフトウェアの内容は含みません

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	デジタルカメラ
品　番	DMC-FZ30
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

■ 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック
お客様ご相談センター

365日/受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

つづく

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

窓口	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目 1166	☎ (0166)22-3011
帯広	帯広市西19条南 1丁目7-11	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗 589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東北地区

窓口	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町 3-7-10	☎ (017)739-9712
秋田	秋田市東通り2丁目 1-7	☎ (050)5519-6348
岩手	盛岡市羽場13地割 30-3	☎ (019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町 7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目 1-75	☎ (023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町 字南ノ内65	☎ (0243)34-1301

首都圏地区

窓口	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町 194-20	☎ (028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎ (027)254-2075
茨城	つくば市花畑2丁目 8-1	☎ (029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目 4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区 星久喜町172	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17	☎ (03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目 4-13	☎ (055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野 5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目 8-14	☎ (025)286-0171

中部地区

窓口	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町 稲荷3丁目80	☎ (076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎ (076)432-8705
福井	福井市開発4丁目 112	☎ (0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀 7600-7	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区西島 765	☎ (054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区 塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岐阜	岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30	☎ (058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目 82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷 1920-3	☎ (059)255-1380

ナショナル パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

近 畿 地 区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎ (077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中 国 地 区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎ (086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎ (083)973-2720

四 国 地 区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎ (088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎ (088)834-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎ (089)971-3644

九 州 地 区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎ (0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎ (0997)53-5101

沖 縄 地 区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0505

さくいん

つづく

その他

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

QuickTime およびQuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される
Apple Computer, Inc.の商標または登録商標です。

愛情点検　長年ご使用のデジタルカメラの点検を！

こんな症状はありませんか	・電源プラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水や異物が入った ・画像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	DMC-FZ30
販売店名	☎（　　）		
お客様ご相談窓口	☎（　　）		

松下電器産業株式会社

ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町１番15号

システム事業グループ
〒571-8503　大阪府門真市松葉町２番15号

F0705Sq0 (　20000 Ⓐ)

Panasonic® デジタルカメラ　DMC-FZ30　取扱説明書